

砺波市美術館年報

令和 6 年度

目 次

展覧会活動

常設展示	4
企画展示	9

教育普及活動

子どもの造形アトリエ	33
講座／講演会／作品説明会／ギャラリートーク	39
ワークショップ	40

作品管理

砺波市美術館収蔵美術品一覧	43
令和6年度新収蔵美術品一覧	44

美術館利用状況

企画展示室及び常設展示室	46
市民ギャラリー	46
市民アトリエ	47
利用状況一覧	47

組織・となみ芸術文化友の会

関係委員及び職員名簿	49
となみ芸術文化友の会役員名簿	50
となみ芸術文化友の会事業	51

展覧会活動

常設展示

企画展示

令和6年度 常設展示1

2024年4月13日(土)～2024年6月16日(日) 新収蔵(彫刻、工芸)

作者名	作品名	制作年	寸法 (cm)	分野、技法、素材
織田 定男	創生の記憶	2020	13.0×31.0×92.0	漆、金箔
松村 外次郎	鬪鶏	1924	18.8×17.5×46.5	木
松村 外次郎	猫	1940	13.0×19.0×24.5	大理石
松村 外次郎	ゆらぐ	1975	19.0×25.0×69.0	ブロンズ
松村 外次郎	西行	1975	15.0×9.0×42.0	ブロンズ
松村 外次郎	元武	1980	14.0×19.0×16.5	ブロンズ
松村 外次郎	青龍	1981	13.5×14.0×21.5	ブロンズ
松村 外次郎	白虎	1985	9.0×20.5×21.0	ブロンズ
松村 外次郎	白虎	1985	9.0×23.0×17.5	ブロンズ
松村 外次郎	朱雀	1986	10.5×21.3×20.5	ブロンズ
松村 外次郎	越の川	1987	8.0×27.0×13.0	ブロンズ
松村 外次郎	ひょうたん	1988	10.0×16.5×15.0	ブロンズ
松村 外次郎	蓮如上人吉崎	1989	7.5×8.5×15.0	ブロンズ
松村 外次郎	北前	1990	7.0×20.0×16.5	ブロンズ
松村 外次郎	イーグル	不詳	12.0×11.6×5.9	ブロンズ
横山 幸文	遙か…	1986	176.3×172.5	漆パネル (二曲一隻)
横山 幸文	山岳	1986～87	64.0×73.5	漆パネル

2024年6月22日(土)～2024年8月4日(日) 砺波の工芸(三助焼)

作者名	作品名	制作年	寸法 (cm)	分野、技法、素材
谷口 栄三 (三助焼)	皿 十客	1933～1935	各3.5×15.5×13.2	陶土
谷口 栄三 (三助焼)	ふくら徳利 二本	1941～1942	各12.5×7.0×7.5	陶土
谷口 栄三 (三助焼)	唐獅子香炉	1943	10.0×8.8×10.3	陶土
谷口 栄三 (三助焼)	浜に鷺図 絵皿	1947～1948	8.0×22.5×18.0	陶土
谷口 栄三 (三助焼)	飴釉抹茶碗	1948	7.7×12.3×12.3	陶土
谷口 栄三 (三助焼)	茶器一式	1952～1962	4.5×8.0×8.0～6.2×9.2×8.5	陶土
谷口 栄三 (三助焼)	灰おとし	1955	5.3×15.7×15.5	陶土
谷口 栄三 (三助焼)	ぐい呑み	1945～1968	5.5×4.5×4.5～4.3×6.5×6.5	陶土
谷口 栄三 (三助焼)	白流天目抹茶碗	1962	7.8×13.5×13.5	陶土
谷口 栄三 (三助焼)	緑白釉掛合杓立	1969	22.0×7.5×7.5	陶土
谷口 栄三 (三助焼)	鉢	1969	8.5×26.2×24.5	陶土
谷口 栄三 (三助焼)	鉄釉花瓶	1970	24.0×11.8×11.8	陶土
下保 昭	武陵桃源 (迷魂台) 6	1990	64.4×40.5	紙本墨画
山下 郁子	半紗織着物「爽光」	2015	172.0×128.0	半紗織
佐竹 清	砺波の散居	不詳	36.5×51.4	木版
谷口 信夫	今・生きる	2011	55.0×133.0×138.0	樺

2024年8月10日(土)～2024年9月16日(月・祝) 工芸の秀作(高瀬 孝信) 1

作者名	作品名	制作年	寸法 (cm)	分野、技法、素材
高瀬 孝信	截金菊花文香合	不詳	1.7×9.0	木、金箔、プラチナ箔
高瀬 孝信	截金置物飾台 華園	1994	3.6×39.5×29.0	神代杉、金箔、プラチナ箔
高瀬 孝信	截金華格子菱文短冊箱	1999	6.4×40.6×10.5	神代杉、金箔、プラチナ箔
高瀬 孝信	截金飾箱 花の城閣	1996	16.4×34.0×16.0	神代杉、黒柿、金箔、プラチナ箔
高瀬 孝信	截金松竹梅吉祥文干菓子盆	不詳	1.7×23.5×33.5	神代杉、金箔、プラチナ箔
高瀬 孝信	截金松葉松毬幾何文手箱	不詳	7.0×16.0×25.0	神代杉、金箔、プラチナ箔
高瀬 孝信	截金竹丸流水花文四方盆	不詳	3.3×22.5×22.5	神代杉、金箔、プラチナ箔
高瀬 孝信	截金秋色流水文小屏風	1996	91.0×76.6	神代杉、金箔、二曲一隻屏風
熊谷 守一	蜻蛉	不詳	116.5×29.0	紙本墨彩・軸装
谷口 信夫	今・生きる	2011	55.0×133.0×138.0	樺

2024年9月21日(土)～2024年11月4日(月・振休) 工芸の秀作(高瀬 孝信) 2

作者名	作品名	制作年	寸法 (cm)	分野、技法、素材
高瀬 孝信	截金花垣文香盤	不詳	2.1×28.0×16.0	神代杉、金箔、プラチナ箔
高瀬 孝信	截金華流水文四方盆	不詳	3.3×22.5×22.5	神代杉、金箔、プラチナ箔
高瀬 孝信	截金吉祥文香合	不詳	2.4×φ8.0	木、金箔、プラチナ箔
高瀬 孝信	截金慶事盤 メルヘン・花孔雀	1993	3.7×39.5×28.7	神代杉、金箔、プラチナ箔

高瀬 孝信	截金幻想花文短冊箱	1998	6.4×40.7×10.7	神代杉、金箔、プラチナ箔
高瀬 孝信	截金砂子秋草文飾唐櫃	不詳	10.9×14.5×20.5	神代杉、金箔、プラチナ箔
高瀬 孝信	截金新・華文香合	不詳	1.7×φ10.0	木、金箔、プラチナ箔
高瀬 孝信	截金秋色流水文手箱	不詳	7.0×26.0×16.1	神代杉、金箔、プラチナ箔
高瀬 孝信	截金盤 毘沙門花垣	不詳	2.2×28.0×16.0	神代杉、金箔、プラチナ箔
松村 外次郎	猫	1954	46.0×31.7×18.5	木
谷口 信夫	今・生きる	2011	55.0×133.0×138.0	樺

2024年11月16日(土)～2025年1月19日(日) 工芸の秀作

作者名	作品名	制作年	寸法 (cm)	分野、技法、素材
中村 喜太郎 (初代尚濤済)	草花蒔絵小棚	1930	35.5×54.5×26.0	木、漆、金
斉藤 晴之	風の函	2007	42.0×64.0×12.0	乾漆・蓋物
久田 鉄也	水指	1987	22.0×18.5×18.5	砂張 (銅、錫、鉛の合金)
芳里 七朗	水辺の鳥	1991	63.0×20.0×16.0	陶土
井口 十糸	野の精	2013	28.0×28.0×7.0	木芯桐塑人形 (桐、布、自染和紙)
谷口 栄三 (三助焼)	飾皿	1962	3.5×19.5×19.5	陶土
谷口 太七郎 (三助焼)	菊花形香炉	1926～1933	7.5×9.2×9.2	陶土
織田 定男	記憶の情景	2014	77.0×80.0×25.0	漆黒呂色、金箔
谷口 信夫	今・生きる	2011	133.0×55.0×138.0	樺
横山 幸文	山岳	1986	64.0×73.5	漆パネル
乗杉 瑛子	未来へ	1999	150.0×150.0	ローケツ染め、木綿
野村 修三	となみ野の四季 冬	2001	35.3×25.0	木版

2025年1月21日(火)～2025年4月6日(日) 工芸の秀作

作者名	作品名	制作年	寸法 (cm)	分野、技法、素材
中村 喜太郎 (初代尚濤済)	菜花蒔絵短冊箱	1909～11年頃	35.5×54.5×26.0	研出蒔絵 (漆)
新敷 孝弘	乾漆流紋奩	1979	20.0×25.2×25.0、20.0×25.2×25.0	漆、麻、萱
新敷 孝弘	乾漆筥 燦	1988	28.0×24.0×58.0	漆、麻、金、貝
北大路 魯山人	鼠志野燕子花文四方大鉢	1951	6.5×30.0×30.0	陶土
北大路 魯山人	織部四方鉢	1955	7.5×29.0×29.0	陶土
細川 毅	栃拭漆蓋物	1993	13.5×33.5×33.5	栃、漆
細川 毅	栃拭漆盛鉢	1996	9.0×35.0×35.0	栃、漆
川原 和夫	夢	2007	158.0×88.0	木曽檜・金粉・神代杉
熊谷 守一	無人春日長	不詳	47.0×154.4	紙に墨
横山 幸文	遙か…	1986	176.3×172.5	漆パネル (二曲一隻)
谷口 信夫	今・生きる	2011	55.0×133.0×138.0	樺
時女 信子	水を語る「動」	2019	69.0×68.0	紙に墨

令和6年度 常設展示2

2024年4月13日(土)～2024年6月16日(日) 秋山 庄太郎(写真)

作者名	作品名	制作年	寸法 (cm)	分野、技法、素材
秋山 庄太郎	紅輝	1994	23.0×34.0	カラープリント
秋山 庄太郎	天女の舞	1994	23.0×34.0	カラープリント
秋山 庄太郎	ピンク・ダイヤモンド	1994	34.0×23.0	カラープリント
秋山 庄太郎	メスナー・ポルツェラン、クイン・オブ・ナイト	1994	23.0×34.0	カラープリント
秋山 庄太郎	横浜	1994	23.0×34.0	カラープリント
秋山 庄太郎	ゴールデン・パレード	1994	23.0×34.0	カラープリント
秋山 庄太郎	ウエスト・ポイント、紫水晶	1994	23.0×34.0	カラープリント
秋山 庄太郎	ゴールデン・オックスフォード、ドーングロー	1994	23.0×34.0	カラープリント
秋山 庄太郎	紫雲	1994	23.0×34.0	カラープリント
秋山 庄太郎	桃太郎	1994	23.0×34.0	カラープリント
秋山 庄太郎	作品	1994	23.0×34.0	カラープリント
秋山 庄太郎	ローズ・ルイサント	1994	23.0×34.0	カラープリント
秋山 庄太郎	コンプリメント	1994	34.0×23.0	カラープリント
秋山 庄太郎	ダイアニト	1994	23.0×34.0	カラープリント
秋山 庄太郎	作品	1994	23.0×34.0	カラープリント
秋山 庄太郎	フレミング・パーロット	1994	23.0×34.0	カラープリント
秋山 庄太郎	作品	1994	23.0×34.0	カラープリント
秋山 庄太郎	パレード、フランソワーズ、ゴールデン・パレード	1994	23.0×34.0	カラープリント

2024年6月22日(土)～2024年8月4日(日) 高道 宏(写真)

作者名	作品名	制作年	寸法 (cm)	分野、技法、素材
高道 宏	青森県西津軽郡深浦町	1968	31.5×46.0	ゼラチンシルバークラフト
高道 宏	青森県西津軽郡深浦町	1966	31.5×46.0	ゼラチンシルバークラフト
高道 宏	青森県西津軽郡岩崎村	1966	31.5×46.0	ゼラチンシルバークラフト
高道 宏	青森県西津軽郡鰺ヶ沢町	1968	31.5×46.0	ゼラチンシルバークラフト
高道 宏	青森県西津軽郡深浦町	1968	31.5×46.0	ゼラチンシルバークラフト
高道 宏	青森県北津軽郡市浦村	1968	31.5×46.0	ゼラチンシルバークラフト
高道 宏	青森県北津軽郡市浦村	1968	31.5×46.0	ゼラチンシルバークラフト
高道 宏	青森県北津軽郡市浦村十三湖	1968	31.5×46.0	ゼラチンシルバークラフト
高道 宏	青森県北津軽郡市浦村十三湖	1968	31.5×46.0	ゼラチンシルバークラフト
高道 宏	青森県西津軽郡鰺ヶ沢町	1966	31.5×46.0	ゼラチンシルバークラフト
高道 宏	青森県北津軽郡小泊村	1968	31.5×46.0	ゼラチンシルバークラフト
高道 宏	青森県西津軽郡岩崎村	1966	31.5×46.0	ゼラチンシルバークラフト
高道 宏	青森県北津軽郡金木町	1968	31.5×46.0	ゼラチンシルバークラフト
高道 宏	青森県北津軽郡金木町	1968	31.5×46.0	ゼラチンシルバークラフト
高道 宏	青森県西津軽郡深浦町	1966	31.5×46.0	ゼラチンシルバークラフト
高道 宏	青森県西津軽郡深浦町	1966	31.5×46.0	ゼラチンシルバークラフト
高道 宏	青森県西津軽郡深浦町	1966	31.5×46.0	ゼラチンシルバークラフト

2024年8月10日(土)～2024年9月16日(月・祝) 松村 外次郎と熊谷 守一

作者名	作品名	制作年	寸法 (cm)	分野、技法、素材
熊谷 守一	夏雲	1957	45.8×38.0	油彩
熊谷 守一	熊谷守一扇面木版画集 寒山拾得	1975	29.4×52.0	木版画
熊谷 守一	熊谷守一扇面木版画集 蟻	1975	29.4×52.0	木版画
熊谷 守一	熊谷守一扇面木版画集 つゆくさ	1975	29.4×52.0	木版画
熊谷 守一	熊谷守一扇面木版画集 百合	1975	29.4×52.0	木版画
熊谷 守一	熊谷守一版画集四季 かまきりにひかん花	1975	29.0×25.8	木版画
熊谷 守一	熊谷守一版画集四季 白梅	1975	27.8×40.2	木版画
熊谷 守一	熊谷守一版画集四季 笹百合	1975	40.2×27.8	木版画
熊谷 守一	熊谷守一版画集四季 柿	1975	27.8×40.2	木版画
熊谷 守一	熊谷守一版画集四季 椿	1975	27.8×40.2	木版画
熊谷 守一	無名蟲	不詳	206.5×27.0	紙本墨彩・軸装
熊谷 守一	無人春日長	不詳	154.5×47.0	書・軸装
松村 外次郎	金魚	不詳	116.5×47.4	紙本着彩・軸装
松村 外次郎	南無阿弥陀仏	不詳	152.0×42.0	紙本着彩・軸装
松村 外次郎	エマジー・熊谷先生	1979	32.5×28.5	ブロンズ

2024年9月21日(土)～2024年11月4日(月・振休) 松村 外次郎と熊谷 守一

作者名	作品名	制作年	寸法 (cm)	分野、技法、素材
松村 外次郎	エマジー・熊谷先生	1979	32.5×28.5	ブロンズ
熊谷 守一	夏雲	1957	45.8×38.0	油彩
熊谷 守一	熊谷守一版画集 茄子	1972	27.4×38.2	木版画
熊谷 守一	熊谷守一版画集 桜	1972	38.2×27.4	木版画
熊谷 守一	熊谷守一版画集 猫	1972	27.4×38.2	木版画
熊谷 守一	熊谷守一版画集 牡丹	1972	38.2×27.4	木版画
熊谷 守一	熊谷守一版画集 笹百合	1972	38.2×27.4	木版画
熊谷 守一	熊谷守一版画集 黒つぐみ	1972	38.2×27.4	木版画
熊谷 守一	熊谷守一版画集 栗	1972	27.4×38.2	木版画
熊谷 守一	熊谷守一版画集 鳩	1972	27.4×38.2	木版画
熊谷 守一	蜻蛉	不詳	116.5×29.0	紙本墨彩・軸装
松村 外次郎	無縫	不詳	51.5×93.7	墨蹟
松村 外次郎	うぐい	不詳	159.0×45.9	紙本着彩・軸装

2024年12月21日(土)～2025年2月16日(日) 井津 建郎(写真)

作者名	作品名	制作年	寸法 (cm)	分野、技法、素材
井津 建郎	サッカー#31、エジプト	1979	40.0×50.0	プラチナプリント
井津 建郎	タヒン#13、ニイチェスのピラミッド、メキシコ	1987	40.0×50.0	プラチナプリント
井津 建郎	アンコール#2、タ・プローム、カンボジア	1993	55.0×70.0	プラチナプリント

井津 建郎	アンコール#4、アンコール・ワット、カンボジア	1993	55.0×70.0	プラチナプリント
井津 建郎	アンコール#79、バヨン、カンボジア	1994	55.0×70.0	プラチナプリント
井津 建郎	バラナシ#105、バラナシ河畔、インド	1997	55.0×70.0	プラチナプリント
井津 建郎	イティマッダウラー#110、アグラ、インド	1997	55.0×70.0	プラチナプリント
井津 建郎	カジュラホ#129、カジュラホ、インド	1997	55.0×70.0	プラチナプリント
井津 建郎	ビン・リンスウー#48、中国	2000	55.0×70.0	プラチナプリント
井津 建郎	カイラス#75、チベット	2000	55.0×70.0	プラチナプリント
井津 建郎	バクタプール#26、ネパール	2002	55.0×70.0	プラチナプリント
井津 建郎	ブムタン#2、ブータン	2002	55.0×70.0	プラチナプリント
井津 建郎	ジョモラリ#1、ブータン	2002	55.0×70.0	プラチナプリント

2025年2月18日(火)～2025年4月6日(日) 版画の世界

作者名	作品名	制作年	寸法 (cm)	分野、技法、素材
熊谷 守一	喜雨	1969	50.0×39.6	木版
吹田 文明	海の星	1973	45.0×30.5	木版
吹田 文明	星座と流れ星	1968	37.0×29.5	木版
佐竹 清	散居	1986	35.7×52.3	木版
佐竹 清	散居村の旧家	不詳	36.5×51.0	木版
黒崎 彰	ミステリアス・ナイト	1970	23.5×23.5	木版
海野 光弘	あじさいの門	1972	56.0×38.5	木版
船坂 芳助	作品	1988	28.5×26.5	木版
佐藤 北久山	皿に柿二つ	不詳	24.0×27.5	木版
塙 太久馬	坂道 (サンフランシスコ)	不詳	32.5×25.5	木版
日和崎 尊夫	樹木	1969	10.0×9.5	木口木版
日和崎 尊夫	花	1969	10.0×9.5	木口木版
柄澤 齊	鬼火	不詳	15.5×7.5	木口木版
柄澤 齊	死と変容Ⅰ、5霧	不詳	22.0×21.5	木口木版
柄澤 齊	死と変容Ⅱ、7静物C	不詳	69.2×50.0	木口木版
柄澤 齊	肖像、G・アルチンボルド	不詳	12.0×9.0	木口木版
柄澤 齊	沈黙Ⅰ、牡蠣	不詳	14.5×18.0	木口木版
小林 敬生	星の時間・樹Ⅰ	1994	24.0×28.0	木口木版

令和6年度 常設展示3

2024年4月13日(土)～2024年6月16日(日) 新収蔵(日本画、洋画)

作者名	作品名	制作年	寸法 (cm)	分野、技法、素材
黒田 信一	モンマルトルの丘より	1970	130.5×162.2	油彩
高島 圭史	槌の音	2017	170.0×215.0	紙本彩色
高島 圭史	山の心臓	2020	173.0×229.0	紙本彩色
三岸 節子	花	—	88.3×72.5	油彩
ヒネス・セランパガン	海辺の慕情	—	72.0×90.7	油彩
鴨居 玲	村の酔っぱらい	—	90.7×70.8	素描(15号大)
進藤 蕃	イドラ島の港	—	77.0×68.8	油彩

2024年6月22日(土)～2024年8月4日(日) 清原 啓一(洋画)

作者名	作品名	制作年	寸法 (cm)	分野、技法、素材
清原 啓一	緑陰白鷄	c.1988	99.4×91.5	油彩
清原 啓一	マジョリカとバラ	c.1988	95.0×82.5	油彩
清原 啓一	バラとレモン	c.1988	86.5×71.2	油彩
清原 啓一	李朝壺の盛薔薇	c.1988	77.7×89.8	油彩
清原 啓一	万歴赤絵壺薔薇	c.1988	85.0×64.7	油彩
清原 啓一	新緑の白鷄	2008	131.0×194.0	油彩
清原 啓一	新緑に遊ぶ	2007	162.1×130.3	油彩
清原 啓一	花園の軍鶏	2007	115.0×117.0	油彩

2024年8月10日(土)～2024年9月16日(月・祝) 藤森 兼明(洋画) 1

作者名	作品名	制作年	寸法 (cm)	分野、技法、素材
藤森 兼明	祖母 (すず)	1953	40.9×32.6	素描、紙
藤森 兼明	妹 (都)	1953	35.8×24.6	素描、紙
藤森 兼明	父 (馨)	1954	35.2×25.0	素描、紙

藤森 兼明	母（きみ）	1956	40.8×31.8	素描、紙
藤森 兼明	弟（繁）	1957	32.7×25.0	素描、紙
藤森 兼明	妻（征子）	1965	33.5×25.2	素描、紙
藤森 兼明	次男（雅也）	1970	40.6×32.0	素描、紙
藤森 兼明	娘（由子）	1971	40.6×31.8	素描、紙
藤森 兼明	自画像	1953	41.0×31.8	油彩
藤森 兼明	祖母の像（すず）	1953	25F/80.3×65.2	油彩
藤森 兼明	アマービレ	1997	72.7×53.0	油彩

2024年9月21日(土)～2024年11月4日(月・振休) 藤森 兼明(洋画) 2

作者名	作品名	制作年	寸法 (cm)	分野、技法、素材
藤森 兼明	弟（繁）	1953	35.7×25.2	素描、紙
藤森 兼明	弟（繁）	1953	25.3×35.8	素描、紙
藤森 兼明	妹（都）	1954	34.6×25.1	素描、紙
藤森 兼明	母（きみ）	1955	35.4×25.0	素描、紙
藤森 兼明	自画像	1955	35.8×25.2	素描、紙
藤森 兼明	妹（都）	1955	35.0×25.1	素描、紙
藤森 兼明	母（きみ）	1956	33.5×25.2	素描、紙
藤森 兼明	弟（繁）	1957	29.0×37.3	素描、紙
藤森 兼明	征子の像	1971	60.6×50.0	油彩
藤森 兼明	ゆずの季	1989	145.5×97.0	油彩
藤森 兼明	自画像	1957	45.5×38.0	油彩

2024年12月21日(土)～2025年2月16日(日) となみ野の彫刻家

作者名	作品名	制作年	寸法 (cm)	分野、技法、素材
永原 廣	かたまり	1982	71.0×50.0×30.0	ブロンズ
板橋 一步	難民キャンプの子供	1991	146.0×36.0×35.0	ブロンズ
横山 豊介	道化師	1984	168.0×60.0×80.0	樹脂
青山 三郎	森の番人	2015	70.0×60.0×50.0	木彫
松村 外次郎	坐る女	1969	102.0×46.0×52.0	ブロンズ
松村 外次郎	朱雀	1980	37.0×38.0×28.0	木
長谷川 総一郎	午後のリビングルーム	1987	83.0×41.0×30.0	アルミニウム
野村 修三	半ズボンの少年	1976	130.0×49.2×44.0	木

2025年2月18日(火)～2025年4月6日(日) となみ野の洋画(藤井 宏)

作者名	作品名	制作年	寸法 (cm)	分野、技法、素材
藤井 宏	夏	c.1969	162.0×130.3	油彩、キャンバス
藤井 宏	カギっ子	1973	162.0×130.3	油彩、キャンバス
藤井 宏	ペット	1978	145.0×112.5	油彩、キャンバス
藤井 宏	なかま	c.1985	130.3×162.0	油彩、キャンバス
藤井 宏	あのね	1986	162.0×112.0	油彩、キャンバス
藤井 宏	出演の前	1994	130.3×162.0	油彩、キャンバス

2024となみチューリップフェア特別展

今森光彦 自然と暮らす切り紙の世界

会 期：2024年4月13日(土)～6月9日(日) 会 場：企画展示室

今森光彦氏（1950年、滋賀県生まれ）は、幼い頃から「生きもの少年」として、豊かな自然に親しんできた。それは、大人になっても変わることなく、今も里山環境の中で自然に寄り添いながら暮らしている。自然と人間の関係を様々な角度で追求する今森氏の活動は多岐に渡り、本展は、その中でもペーパーカットに主眼を当てた展覧会となった。「誰も見たことのない切り紙の世界」とも称される切り紙は、170種類を超えるラシャ紙を用いたもので、鮮やかな色彩は生命感や感動に満ち溢れている。本展は自然に寄り添う暮らしの紹介とともに、約200点の切り紙作品を展示した。

〔観 覧 料〕 一般800（700）円、高校生以下100（80）円、
未就学児、障がい者（介助者1名を含む）無料
（ ）内は20名以上の団体料金、65歳以上の割引料金

〔主 催〕 砺波市／砺波市美術館／一般社団法人砺波市観光協会

〔後 援〕 となみ衛星通信テレビ／エフエムとなみ／
となみ芸術文化友の会

〔協 力〕 オーレリアンガーデン

〔企画制作〕 クレヴィス

〔出品点数〕 225点

〔入 場 者 数〕 54,446人

〔印刷物〕 ポスター B2判、チラシA4判

〔関連事業〕 ●アーティストトーク（要観覧券）

日時：5月25日（土）午前11時～

場所：企画展示室

講師：今森 光彦（写真家、切り紙作家）

●ワークショップ

日時：5月25日（土）午後2時～

場所：市民アトリエ

講師：今森 光彦（写真家、切り紙作家）

〔担当学芸員〕 長田 里恵



作品名	制作年	寸法 (cm)	分野、技法、素材
第1章 出会いの喜び			
オナガタイマイ	2014	49.0×64.0	切り紙絵
タテハモドキ	2014	49.0×64.0	切り紙絵
モルフォチョウ	2014	49.0×64.0	切り紙絵
昆虫採集1	2010	32.0×45.0	切り紙絵
昆虫採集2	2009	33.0×53.0	切り紙絵
昆虫採集3	2008	42.0×57.0	切り紙絵
昆虫採集4	2008	44.0×57.0	切り紙絵
昆虫採集5	2008	34.0×45.0	切り紙絵
アゲハの羽化	2014	45.0×53.0	切り紙絵
アゲハの羽化前の蛹	2014	45.0×53.0	切り紙絵
アゲハの蛹	2014	45.0×53.0	切り紙絵
飛ぶアゲハチョウ	2014	47.0×57.0	切り紙絵
アゲハチョウの孵化	2014	50.0×60.0	切り紙絵
アゲハチョウの幼虫の威嚇	2014	40.0×44.0	切り紙絵
アゲハチョウの若齢幼虫	2014	42.0×50.0	切り紙絵
アゲハチョウの終齢幼虫	2014	44.0×47.0	切り紙絵
アゲハチョウの幼虫の脱皮	2014	45.0×57.0	切り紙絵
クモマツマキチョウとイチゲ	2014	45.0×56.0	切り紙絵
チャマダラセセリとキジムシロ	2014	45.0×58.0	切り紙絵
クモマベニヒカゲとマツムシソウ	2013	72.0×94.0	切り紙絵
シジューカラとカエデ	2009	38.0×56.0	切り紙絵
オニグモ	2011	50.0×69.0	切り紙絵
カケスとクロウメモドキ	2011	52.0×79.0	切り紙絵
オナガガモ	2012	52.0×85.0	切り紙絵
ワシミミズクとヒマラヤスギ	2013	54.0×71.0	切り紙絵
コミミズクと道標	2010	74.0×105.0	切り紙絵
カザリハチドリ	2011	33.0×44.0	切り紙絵
飛ぶカザリハチドリ	2011	33.0×44.0	切り紙絵
ラケットハチドリ	2011	33.0×44.0	切り紙絵
ヨナグニサン	2012	35.0×45.0	切り紙絵
オオムラサキ	2011	33.0×44.0	切り紙絵
カギバアオシャク	2012	33.0×44.0	切り紙絵
キネヤガ	2013	33.0×44.0	切り紙絵
クマバチ	2012	33.0×44.0	切り紙絵
クロシタアオイラガ	2012	33.0×44.0	切り紙絵
ドクガ	2013	33.0×44.0	切り紙絵
トモエガ	2013	33.0×44.0	切り紙絵
トリバガ	2013	33.0×44.0	切り紙絵
ヒトリガ	2014	33.0×44.0	切り紙絵
アカオビスズメ	2011	33.0×44.0	切り紙絵
ホタルガ	2012	33.0×44.0	切り紙絵
マダラモドキガ	2012	33.0×44.0	切り紙絵
メキシコフクロウチョウ表	2013	33.0×44.0	切り紙絵
メキシコフクロウチョウ裏	2013	33.0×44.0	切り紙絵

作品名	制作年	寸法 (cm)	分野、技法、素材
メスシロキチョウ・オス	2011	33.0×44.0	切り紙絵
メスシロキチョウ・メス	2011	33.0×44.0	切り紙絵
オオクジャクヤママユ	2014	33.0×44.0	切り紙絵
第2章 アトリエの庭から			
松ボックリ	2011	13.0×17.0	切り紙絵
コバイモ	2011	15.0×20.0	切り紙絵
ベニシジミ	2011	16.0×16.0	切り紙絵
ゴマダラチョウ	2011	17.0×24.0	切り紙絵
カブトムシ	2013	17.0×26.0	切り紙絵
キンマメザクラの葉	2012	18.0×24.0	切り紙絵
ダンコウバイの葉	2012	18.0×24.0	切り紙絵
コジュケイ	2011	18.0×26.0	切り紙絵
シジウカラ	2011	19.0×20.0	切り紙絵
ハシビロガモ	2011	19.0×25.0	切り紙絵
ヒイラギ	2012	19.0×26.0	切り紙絵
キマダラセセリとヒマワリ	2012	74.0×100.0	切り紙絵
アレキサンドラトリパネアゲハとハイビスカス	2013	61.0×92.0	切り紙絵
カワセミとヤマザクラ	2012	61.0×92.0	切り紙絵
ギフチョウとカタクリ	2013	61.0×92.0	切り紙絵
アカカザリフウチョウ	2013	62.0×92.0	切り紙絵
ファルキドンアグリアスとカシューナッツ	2014	63.0×96.0	切り紙絵
ウラモジタテハとカカオ	2012	63.0×98.0	切り紙絵
ビクトリアトリバ	2014	63.0×98.0	切り紙絵
コノハズクとニシキギ	2013	64.0×94.0	切り紙絵
ハウジャクとヤマユリ	2014	64.0×94.0	切り紙絵
アマゾンボウシインコとオヒルギ	2013	65.0×98.0	切り紙絵
ヤシオウムとユーカリ	2011	66.0×90.0	切り紙絵
ハチドリとトケイソウ	2013	66.0×95.0	切り紙絵
パンサーカメレオンとパキボディウム	2012	71.0×93.0	切り紙絵
トビトカゲとバナナ	2014	71.0×103.0	切り紙絵
トンボマダラとパイナップル	2013	76.0×104.0	切り紙絵
ウソとコブシ	2014	96.0×108.0	切り紙絵
今森光彦ポートレート	2011	23.0×31.0	切り紙絵
飛ぶオニヤンマ	2012	33.0×49.0	切り紙絵
青い大気につつまれた早朝のアトリエ。周辺は田園がひろがり、背後には、比良山系が見える。ひと冬に数回だけだけれど、このような雪景色になる。		80.0×120.0	写真
アトリエの近くにある桜の古木。棚田を見渡せる気持ちがいい場所にあるので“棚田桜”と呼んでいる。		80.0×120.0	写真
木々に囲まれたアトリエ		20.0×30.0	写真
雑木林の中で一息。		20.0×30.0	写真
ドアを開けたら、風の音が舞い		20.0×30.0	写真
土手のノアザミを生けてみた。		20.0×30.0	写真
ハスのピンク色は美しい。		20.0×30.0	写真
あちこちに薪置き場がある。		20.0×30.0	写真
春の匂いを運ぶナノハナ		20.0×30.0	写真

作品名	制作年	寸法 (cm)	分野、技法、素材
キアゲハは、花が大好きだ。		20.0×30.0	写真
タンポポの花を歩くナナホシテントウ		20.0×30.0	写真
アセビの花にやってきたアカタテハ		20.0×30.0	写真
夏、部屋の中は、木々の葉におおわれ、木漏れ日があまびしい。早朝は鳥の声、日が高くなるとセミの音が響きわたる。		80.0×120.0	写真
ファール昆虫記、全巻のオリジナル		20.0×30.0	写真
ハサミは、繊細な線も切ることができる魔法の道具。		20.0×30.0	写真
200年前の博物学書と熱帯で採集した昆虫たち		20.0×30.0	写真
フランスの古いタイルとできたばかりの作品		20.0×30.0	写真
ファール昆虫記のフンコロガシのページを開く。		20.0×30.0	写真
ブロンズのフクロウ。ずいぶん前にフランスの骨董屋で手に入れたもの。		20.0×30.0	写真
クヌギの黄葉は、金色に輝く。		20.0×30.0	写真
冬に目を潤してくれるロウバイ。		20.0×30.0	写真
イギリスの骨董街でみつけたホシハジロのデコイ		20.0×30.0	写真
サルトリイバラは、晩秋に実が赤く色づく。		30.0×20.0	写真
ウスタビガは、11月に誕生する。		30.0×20.0	写真
ホオズキは、実が美しいので刈り取って干しておく。		30.0×20.0	写真
アトリエの雑木林でとれたヤマグリ		20.0×30.0	写真
9月になるとイネの穂がたれて、美しい風景をつくる。		20.0×30.0	写真
土手には、カキの枯木があり、たわわに実る。		20.0×30.0	写真
雑木林の周辺には、ゼンマイやワラビが顔を出す。		20.0×30.0	写真
窯に薪をいれる		20.0×30.0	写真
窯は、ピザをはじめ、いろいろなものに使う。		20.0×30.0	写真
手作りのピザは、いつもマルゲリータ。		20.0×30.0	写真
焼きたては、最高に美味しい。		20.0×30.0	写真
収穫したユズ。他に、レモン、ナツミカンなども実る。		20.0×30.0	写真
カモミールは、ハーブティーに入れるために摘みとる。		20.0×30.0	写真
ビワマスのグリル。いろいろな野菜をそえていただく。		20.0×30.0	写真
地鶏のソテーは、アトリエ料理の定番。		20.0×30.0	写真
アトリエにほど近い田園風景。秋のはじまりは、田んぼが黄金色で美しい。		80.0×120.0	写真
落ち葉を集めて腐葉土をつくる。		20.0×30.0	写真
晩秋は、農家の人に習って枯れ草を焼く。		20.0×30.0	写真
大きくなったクヌギを伐採する。		20.0×30.0	写真
26年間、冬になると大活躍している薪ストーブ。		30.0×20.0	写真
軒先にできたつらら		30.0×20.0	写真
熟しきったカキを食べにやってきたヒヨドリ		20.0×30.0	写真
降雪の日のアプローチ。ちょっと幻想的な風景。		20.0×30.0	写真
アトリエの雑木林で、野鳥を観察する。		20.0×30.0	写真
花々が咲くガーデンエリアの背後は、クヌギやコナラを主体とする雑木林でおおわれている。この小さな森があるから、生きものたちの顔ぶれが豊かになる。		60.0×90.0	写真
アトリエへのアプローチには、クヌギの稲木が立ち並び、周囲には季節折々に花が咲く。土手は、300年以上前につくられたものをそのまま受け継いでいて、生えている植物は、ほとんどが在来種。		90.0×60.0	写真
ガーデニングは、いつも長靴をはいて、動きやすい姿でおこなう。		20.0×30.0	写真
初夏から夏にかけては、昆虫たちの集まる花でにぎわう。		20.0×30.0	写真
庭をめぐる4輪車には、スコップ、ハサミなどひと通りのものが入っている。		20.0×30.0	写真

作品名	制作年	寸法 (cm)	分野、技法、素材
モナルダは、収穫して干しておく、とてもいい香りがする。		20.0×30.0	写真
刈り取った草を焼く農家の人。アトリエに近い田んぼの土手で。		80.0×120.0	写真
セイヨウニンジンボクに巣をつくったクモ		30.0×20.0	写真
アトリエの庭には、クチベニマイマイも姿をあらわす。		20.0×30.0	写真
大型のアゲハチョウがやってくるボタンクサギ		20.0×30.0	写真
ため池に棲むクロイトトンボ		20.0×30.0	写真
第3章 遊びから生まれるもの			
獅子舞	2009	18.0×21.0	切り紙絵
ソフトクリーム	2011	12.0×21.0	切り紙絵
ノウサギ	2009	13.0×18.0	切り紙絵
ツクシ	2009	14.0×18.0	切り紙絵
ワラビ	2008	14.0×18.0	切り紙絵
戦国甲	2011	14.0×22.0	切り紙絵
アマガエル	2008	13.0×25.0	切り紙絵
マツタケ	2011	15.0×18.0	切り紙絵
ブドウ	2009	15.0×20.0	切り紙絵
鬼	2011	15.0×22.0	切り紙絵
こいのぼり	2009	15.0×31.0	切り紙絵
雪だるま	2011	16.0×21.0	切り紙絵
野球	2008	16.0×21.0	切り紙絵
タケノコ・鯛・ハマグリ	2009	16.0×30.0	切り紙絵
花火	2008	16.0×32.0	切り紙絵
お月見	2011	17.0×17.0	切り紙絵
傘	2008	17.0×17.0	切り紙絵
2匹のカブトムシ	2007	17.0×22.0	切り紙絵
ミヤマクワガタ	2008	17.0×25.0	切り紙絵
金太郎	2008	18.0×18.0	切り紙絵
風鈴	2008	19.0×18.0	切り紙絵
ドンブリ	2009	19.0×23.0	切り紙絵
カーネーション	2011	19.0×26.0	切り紙絵
ヤブツバキ	2008	20.0×22.0	切り紙絵
カキの実	2010	20.0×26.0	切り紙絵
洋ナシ	2009	21.0×26.0	切り紙絵
コスモス	2009	22.0×24.0	切り紙絵
アジサイ	2008	22.0×31.0	切り紙絵
クリスマス	2009	22.0×31.0	切り紙絵
サクラ	2008	23.0×33.0	切り紙絵
ウメ	2010	24.0×26.0	切り紙絵
チューリップ	2011	24.0×32.0	切り紙絵
イチョウ	2011	26.0×26.0	切り紙絵
雪の結晶	2007	58.0×74.0	切り紙絵
乱舞するゲンジボタル	2007	27.0×36.0	切り紙絵
ヒマワリ	2009	28.0×35.0	切り紙絵
ひなまつり	2011	29.0×45.0	切り紙絵
モンキチョウ オスとメス	2014	長辺12.0	立体切り紙

作品名	制作年	寸法 (cm)	分野、技法、素材
アカバナビワハゴロモ	2014	長辺19.8	立体切り紙
アケビコノハ	2014	長辺25.4	立体切り紙
アサギマダラ	2014	長辺16.0	立体切り紙
オオミズアオ	2014	長辺18.0	立体切り紙
オオムラサキ	2014	長辺19.0	立体切り紙
カブトムシ	2014	長辺15.0	立体切り紙
ゲンゴロウ	2014	長辺10.6	立体切り紙
ゲンジボタル	2014	長辺12.7	立体切り紙
ゴマダラオトシブミ	2014	長辺12.4	立体切り紙
スカラベ	2014	長辺14.0	立体切り紙
タガメ	2014	長辺19.0	立体切り紙
ニシキキンカメムシ	2014	長辺12.7	立体切り紙
ノコギリクワガタ 1点	2014	長辺17.0	立体切り紙
メダマカレハカマキリ	2014	長辺21.0	立体切り紙
ヘラクレスオオカブトムシ	2014	長辺21.2	立体切り紙
ヨーロッパミヤマクワガタ	2014	長辺18.7	立体切り紙
オウゴンオニクワガタ	2014	長辺13.5	立体切り紙
第4章 愛しい生きものたち			
クロネコ P1230156	2013	35.0×58.0	切り紙絵
クロネコ P1230158	2012	30.0×48.0	切り紙絵
クロネコ P1230161	2012	30.0×48.0	切り紙絵
クロネコ P1230162	2013	30.0×48.0	切り紙絵
クロネコ P1230164	2013	30.0×48.0	切り紙絵
クロネコ P1130175	2014	37.0×50.0	切り紙絵
クロネコ P1180088	2014	37.0×50.0	切り紙絵
クロネコ P1180090	2014	37.0×50.0	切り紙絵
クロネコ P1180091	2014	37.0×50.0	切り紙絵
クロネコ P1180092	2011	37.0×50.0	切り紙絵
クロネコ P1180095	2014	37.0×50.0	切り紙絵
クロネコ P1180096	2014	37.0×50.0	切り紙絵
クロネコ P1180097	2014	37.0×50.0	切り紙絵
ニホンザルのおしり	2012	29.0×39.0	切り紙絵
ヤクの群れ	2013	37.0×49.0	切り紙絵
どうぶつ島パレード	2012	44.0×54.0	切り紙絵
アフリカゾウ	2011	19.0×24.0	切り紙絵
ウシ	2012	19.0×24.0	切り紙絵
ジャガー	2010	19.0×24.0	切り紙絵
ハリネズミ	2011	19.0×24.0	切り紙絵
ヒツジと柵	2011	22.0×32.0	切り紙絵
すべるツキノワグマ	2010	26.0×38.0	切り紙絵
ホンドリスとクルミ	2010	26.0×38.0	切り紙絵
ヤマアラシとバット	2011	26.0×38.0	切り紙絵
ラッコとコンブ	2012	26.0×38.0	切り紙絵
水を飲むキリン	2011	26.0×41.0	切り紙絵
カメレオン	2012	27.0×32.0	切り紙絵

作品名	制作年	寸法 (cm)	分野、技法、素材
コノハズク	2011	27.0×39.0	切り紙絵
コアラとユーカリ	2012	27.0×41.0	切り紙絵
刺の森のライオン	2012	29.0×41.0	切り紙絵
トド	2011	29.0×43.0	切り紙絵
戦うカンガルー	2012	30.0×44.0	切り紙絵
木の上のゴリラ	2011	30.0×45.0	切り紙絵
シロナガスクジラ	2012	31.0×43.0	切り紙絵

砺波の木工芸3人展

会 期：2024年6月22日(土)～7月28日(日) 会 場：企画展示室

木の素材そのものを活かす木工芸。作り手は伝統的な技法を用いて、木の生命感、重量感、空目など、自然が持つ美しさの魅力を作品へと昇華させる。砺波地方は、豊かな自然に恵まれ、良質な木材が豊富にあり、庄川挽物木地をはじめ木工芸が盛んに行われてきた。本展では、砺波市在住の木工芸作家 荒木寛二氏（1952-）、林哲三氏（1944-）、米道正幸氏（1952-2025）を紹介した。

〔観 覧 料〕 一般600（500）円、
高校生以下、障がい者（介助者1名を含む）無料
（ ）内は20名以上の団体料金、65歳以上の割引料金

〔主 催〕 砺波市美術館／北日本新聞社

〔共 催〕 北日本放送

〔後 援〕 となみ衛星通信テレビ／エフエムとなみ／
となみ芸術文化友の会

〔出 品 点 数〕 100点

〔入 場 者 数〕 1,050人

〔印 刷 物〕 ポスター B2判、チラシA4判、小冊子A4判28ページ

〔関 連 事 業〕 ●アーティストトーク（要観覧券）

日時：7月6日（土）午後2時～

場所：企画展示室

講師：荒木 寛二（木工芸作家）、林 哲三（木工芸作家）

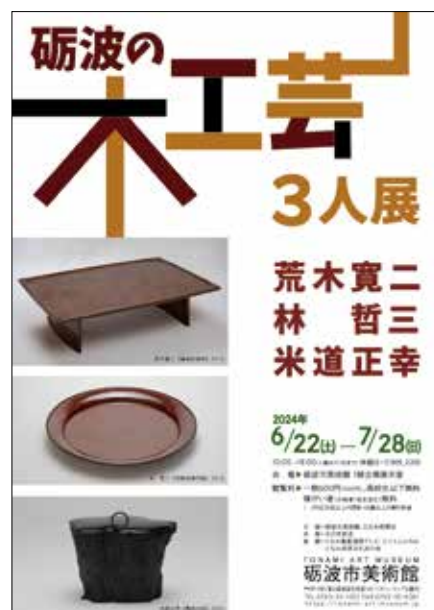
●学芸員によるギャラリートーク（要観覧券）

日時：7月20日（土）午後2時～

場所：企画展示室

講師：長田 里恵（砺波市美術館学芸員）

〔担当学芸員〕 長田 里恵



作者名	作品名	制作年	収蔵先（空欄は作家蔵）
荒木 寛二	楠造拭漆卓	2015	
荒木 寛二	楠拭漆卓	1996	
荒木 寛二	櫟拭漆卓	2008	
荒木 寛二	栗造拭漆盤	2012	
荒木 寛二	塩地拭漆卓	2004	
荒木 寛二	栃造拭漆卓	2012	
荒木 寛二	楠造拭漆卓	2016	
荒木 寛二	楠造拭漆盤	2017	
荒木 寛二	櫟拭漆卓	2005	
荒木 寛二	栃造拭漆盤	2011	
荒木 寛二	楠造拭漆卓	2016	
荒木 寛二	櫟拭漆盛器	2004	
荒木 寛二	櫟拭木目沈金飾箱	2004	
荒木 寛二	櫟拭漆卓	1999	砺波市美術館蔵
荒木 寛二	櫟拭漆小卓	1997	砺波市美術館蔵
荒木 寛二	黒柿造印箱「黙想」	2001	砺波市美術館蔵
荒木 寛二	屋久杉造短冊箱	2001	砺波市美術館蔵
林 哲三	花梨拭漆平鉢	2014	
林 哲三	櫟拭漆合子		
林 哲三	黄檗拭漆四方割鉢	2015	
林 哲三	楓赤漆割四方皿	2010	
林 哲三	櫟砂磨黒拭漆割皿	2016	
林 哲三	栃朱拭漆八稜箱		
林 哲三	櫟拭漆四方重々箱	1991	
林 哲三	栃赤漆七宝文彫箱	2005	
林 哲三	栃赤漆七宝文彫八稜鉢	2004	
林 哲三	黒柿赤漆鉢		
林 哲三	楓拭漆鉢	1998	
林 哲三	黒柿拭漆棗		
林 哲三	櫟造彫刻箱		個人蔵
林 哲三	桜拭漆盤と俱意飲5種（桑・栃朱・栃青・楓・黒柿）		
林 哲三	櫟拭漆平筥		
林 哲三	櫟拭漆鱗紋箱	1996	
林 哲三	杉砂磨拭漆四方割皿		
林 哲三	櫟拭漆合子	1994	
林 哲三	黒柿炉縁		
林 哲三	杉砂磨拭漆平卓	2020	
林 哲三	櫟拭漆割皿	2009	
林 哲三	栃赤漆重々八稜箱	2003	
林 哲三	櫟拭漆盛器	1998	
林 哲三	桑拭漆七宝繫文彫箱	2012	
林 哲三	栃拭漆重小箱	1987	個人蔵
林 哲三	栃朱拭漆盆		
林 哲三	桑拭漆四方盆		
林 哲三	櫟拭漆花文彫八稜箱	2017	

作者名	作品名	制作年	収蔵先（空欄は作家蔵）
林 哲三	栃拭漆花弁鉢		
林 哲三	霧島杉砂磨拭漆盆	2024	
林 哲三	楓拭漆色椀（6個）	2024	
林 哲三	榊空拭漆飾棚		
林 哲三	酒器一式と砂磨拭漆座卓	2002	砺波市美術館蔵
米道 正幸	櫛空目沈金香盆「比翼」	1999	
米道 正幸	桐造盛器「水月」	2010	
米道 正幸	薦拭漆盛器「流韻」	2006	
米道 正幸	朴拭漆盛器	2007	
米道 正幸	桑拭漆合子	2017	
米道 正幸	桑拭漆合子		
米道 正幸	黒柿合子		
米道 正幸	櫛拭漆盤		
米道 正幸	黒柿水指	2020	
米道 正幸	櫛拭漆盛器「宙」	1998	
米道 正幸	黒柿造手盆		
米道 正幸	栃拭漆盛器		
米道 正幸	櫛拭漆盛器		
米道 正幸	蓮の葉盆		
米道 正幸	朴拭漆刳箱	2019	
米道 正幸	櫛拭漆盛器		
米道 正幸	竹拭漆盛器		
米道 正幸	櫛拭漆三重「糸巻」	1997	
米道 正幸	薦小舟鉢	2006	
米道 正幸	黒柿八角合子		
米道 正幸	楠葡萄空合子	2000	
米道 正幸	黒柿蘇芳染盛器		
米道 正幸	櫛拭漆香盆	1988	
米道 正幸	花梨拭漆盛器「群影」	2013	
米道 正幸	桂拭漆八陵合子「苑」	2018	
米道 正幸	栃拭漆盛器	1988	
米道 正幸	南天香合 蚩	1988	
米道 正幸	薦の葉香合	1988	
米道 正幸	桜造木彫彩色鶯鴛香合	1988	
米道 正幸	南天香合	1988	
米道 正幸	櫛拭漆盛器		
米道 正幸	黒柿小箱 小物入れ		
米道 正幸	獅子香合		
米道 正幸	鬼灯香合	2008	
米道 正幸	茄子香合		
米道 正幸	黒柿水指	2020	
米道 正幸	栃香合		
米道 正幸	栃拭漆合子		
米道 正幸	芭蕉盆		
米道 正幸	檜の葉皿		

作者名	作品名	制作年	収蔵先（空欄は作家蔵）
米道 正幸	薦拭漆盛器		
米道 正幸	黒柿造香盆		
米道 正幸	桐造四方盛器		
米道 正幸	越前杉盛器「水面」	2022	
米道 正幸	老松造器十三組	1994	
米道 正幸	香椿拭漆盛器	2023	
米道 正幸	桑拭漆盛器「漣」	2021	
米道 正幸	櫟拭漆盛器		
米道 正幸	櫟杳目沈金盛器		
米道 正幸	櫟拭漆四方鉢		

第31回 中学生清流展

会 期：2024年8月10日(土)～9月8日(日) 会 場：企画展示室

砺波市、南砺市、小矢部市の文化部からなる中学生文化連盟と砺波市美術館が実施する庄川写生会や、生徒の日頃の活動成果の発表の場を設けることにより、中学生のさらなる活動意欲の向上と発展に寄与する。また砺波市美術館で開催することによって、市の施設や美術作品に対して中学生の興味関心を高める。

〔観 覧 料〕 無料

〔主 催〕 砺波市美術館／砺波地区中学校文化連盟／北日本新聞社

〔後 援〕 砺波市教育委員会／南砺市教育委員会／
小矢部市教育委員会／となみ衛星通信テレビ／
エフエムとなみ／となみ芸術文化友の会

〔協 賛〕 県民芸術文化祭2024

〔応 募 資 格〕 砺波市、南砺市、小矢部市の中学生

〔出 品 要 領〕 ①砺波地区中学生写生会（令和6年6月15日（土））に参加した生徒の作品

②写生会への参加不参加に関わらず、出品を希望する生徒の作品

- ・内容は、人々の暮らしや自然の中に主題を求めた絵画とする
- ・材料は、自由。寸法は、四ッ切画用紙又は四ッ切ボード大とする
- ・出品点数は1人1点とする
- ・額装は美術館職員が行う

〔審 査 会〕 7月30日（火）午前10時30分～正午 市民ギャラリー

審査員長 中川 佳代子（洋画家、写生会講師）

審査員 野村 由佳里（砺波地区中学校文化連盟会長、平中学校長）

関口 和美（北日本新聞社生活文化部長）

杉野 秀樹（砺波市美術館長）

〔表 彰 式〕 8月10日（土）午前10時より 砺波市美術館エントランス

〔出 品 点 数〕 入選作品100点。内、清流賞・北日本新聞社賞受賞作品20点

〔入 場 者 数〕 1,548人

〔印 刷 物〕 ポスター B2判、出品目録A3判二つ折り

〔担当学芸員〕 野村 佳也子



賞	氏名	作品名	学校
	浅谷 優心	旅人を待っている	庄西中
	浅原 未果	庄川の木	出町中
	生田 しずく	川のせせらぎ	平中
○	石黒 紗羽	若葉	庄川中
	稲塚 美智	白花の道	井波中
○	今井 卓月	木々の中で	庄西中
	今井 羽琉	足入れたいなー	城端中
	岩崎 美琴	山の木々	井波中
	上田 真茹未	霧	大谷中
	上野 悠輔	しぜん、たてもの、いっぱい風景	となみ総合支援
	鵜野 紫月	木陰を求めて	吉江中
	梅基 流奈	鴨の冒険	出町中
	浦井 千晶	食べ物ロード	福野中
	江守 倅奈	光	出町中
○	老松 日菜歌	ブランコ	出町中
	大川 蒼奈	緑あふれる	福光中
	大花 勇月	続く自然	福野中
	大谷 吉乃	夏の坂	井波中
	奥村 咲季	自然	出町中
	尾崎 心南	水晶	石動中
	小幡 悠希	川	出町中
	笠原 咲李	扉の向こう	出町中
	梶川 愛菜	反射がキレイな湖	庄西中
	河合 加乃子	森の大樹	出町中
	木田 卓月	優灯	蟹谷中
	北市 帆野佳	草木のさそい	庄川中
	木村 百花	自然のエネルギー	井波中
	久恵 海	二つの木	井波中
	桐山 琉奈	恵み	福光中
	小西 結愛	流れる川と岩	津沢中
	近藤 珠貴	緑と川	大谷中
	今藤 蓮希	庄川の山	福野中
	紺野 天衣	赤いバイク	井波中
	齊藤 大良	湖	石動中
○	佐伯 香帆	街の灯	庄西中
	佐伯 陽香	自然	出町中
	酒井 清道	澄んだ緑	蟹谷中
	澤田 彩	てつぼうの見える風景	となみ総合支援
	篠崎 由依	まだ描いている。	城端中
	嶋之内 凜花	岩	津沢中
	白川 実久	世界を旅する水と石	津沢中
	臺藏 朋美	枯渇	福光中
	高城 秋斗	平穏な山	蟹谷中
	高桑 莉奈	自然	出町中
	高嶋 百音	いけの水	蟹谷中
	高山 栄	樹々から見える景色	井波中
	滝口 美衣桜	きれいな庄川の自然	吉江中
	龍田 ひま里	緑の中に	城端中
	茶木 夏世	緑香る樹々	蟹谷中
	塚田 紗史	山々	庄西中

※賞は清流賞・北日本新聞社賞

賞	氏名	作品名	学校
○	辻 由紀乃	水の声	平中
	常川 琉莉	木漏れ日の道	井波中
	徳田 結衣奈	透明な網	出町中
	長井 優咲	緑の中の赤い橋	井波中
○	長田 莉奈	清水	蟹谷中
	中田 百南	朱夏へ	蟹谷中
	中山 彩歌	広大な自然の中で	庄西中
	中山 幸来	岩のトンネルくぐって	津沢中
	中山 陽愛	鮮やかな紫陽花	南砺つばき
○	成川 あすか	瞬きの清流	大谷中
	南部 結衣	初夏	庄川中
	西田 樹繁	流水	庄西中
	西野 芹愛	木漏れ日	蟹谷中
	西村 花音	橋からの景色	蟹谷中
○	西村 寿莉	静かな日	出町中
	沼田 勇飛	理想の自然	津沢中
	萩原 和奏	湖と山	石動中
○	長谷川 百葉	青天	津沢中
	畑 結葵	山	となみ総合支援
	波能 麻里菜	池と柵	井波中
	原田 知歩	鮮やかな花達	井波中
	樋口 眞之介	万緑の池	庄川中
○	平瀬 連弥	鮮やかな小川	南砺つばき
○	廣瀬 朋花	夕方	出町中
	藤田 陽子	カラフルな木	出町中
	藤本 詩穂	川と木と山	庄川中
	細池 成海	夢の国	津沢中
	細川 蓉	隣の芝は初夏の青	城端中
○	前田 愛莉	林	石動中
	松川 美結	初夏の木漏れ日	南砺つばき
	松澤 莉子	動かぬ親子	出町中
	松永 茜	自然の中の川	大谷中
	松本 穂	静寂	大谷中
○	水上 来美	自然	出町中
	皆川 歩理	橋より	庄西中
○	三村 虎太郎	響	出町中
	村田 花帆	自然世界	吉江中
○	森下 大智	緑のトンネル	石動中
○	森田 悠月	あたたかな日差し	吉江中
	山本 好花	橋の間から見た川	大谷中
	山本 雄也	川の向こう	出町中
○	横井 紗瑛	錯覚	庄川中
○	横山 夢依	木もれ日	庄西中
	横山 優月	私の景色	庄西中
○	吉田 心音	身近にある森	津沢中
	吉田 望桜	緑の波	蟹谷中
	吉田 有里	うきじまはし	吉江中
○	吉原 峻馬	湖	福光中
	和田 繭花	命のめぐみ	津沢中
	渡辺 千花	色鮮やかな自然	庄西中

日本画☆動物園

会 期：2024年9月21日(土)～11月4日(月・振休)

会 場：企画展示室

動物は、古来より日本画の題材として描かれてきた。ひとくちに動物画といっても愛玩動物、人の暮らしを支える動物や自然界に逞しく生きる動物などその対象は多種多様で、それらを描くことの意味もさまざまである。本展では動物表現に優れた現代の日本画家による作品を6つの章に分け、画家たちの眼差しを通して描かれた魅力あふれる動物画の世界を動物園さながらの会場構成で紹介した。

〔観 覧 料〕 一般800 (700) 円、
高校生以下、障がい者（介助者1名を含む）無料
（ ）内は20名以上の団体料金、65歳以上の割引料金

〔主 催〕 砺波市美術館／富山新聞社・北國新聞社

〔共 催〕 富山テレビ放送

〔後 援〕 砺波市教育委員会／となみ衛星通信テレビ／
エフエムとなみ／となみ芸術文化友の会

〔協 力〕 郷さくら美術館

〔企 画 協 力〕 株式会社アルテ舎

〔協 賛〕 県民芸術文化祭2024

〔出 品 点 数〕 43点

〔入 場 者 数〕 3,167人

〔印 刷 物〕 ポスター B2判、チラシA4判

〔関 連 事 業〕 ●ギャラリートーク（要観覧券）

日時：9月21日（土）午前11時～

講師：滝口 紫苑（郷さくら美術館 学芸員）

●動物お面作り（親子対象、自由参加）

日時：10月19日（土）午後1時～2時（出入自由）

場所：市民アトリエ

●動物園の飼育員さんと作品鑑賞してみよう（要観覧券）

「絵の中の動物の本当のお話」

講師：森 大輔（富山市ファミリーパーク 飼育展示第一係長）

日時：10月19日（土）午後2時～

場所：企画展示室

●担当学芸員によるギャラリートーク

日時：10月26日（土）午後2時～

場所：企画展示室

講師：辻 弥生子（砺波市美術館学芸員）

〔担当学芸員〕 辻 弥生子



エリア	動物	作者名	作品名	制作年	寸法 (cm)
肉食動物	ライオン	松岡 歩	幽境	2013	112.0×145.6
	タヌキ	河股 幸和	風の音	1994	145.0×97.0
	キツネ	河股 幸和	白日	1994	144.0 ×96.0
	キツネ	後藤 順一	冬陽	1994	109.0×109.0
	イタチ	松村 公嗣	野分	1996	90.0×116.0
	ヒョウ	絹谷 香菜子	旅にでるものたち -夜桜 Leopard-	2014	145.5 ×97.0
霊長類	サル	西野 陽一	水の月	1992	117.0×79.5
	サル	栗原 幸彦	晩秋	1996	111.0×144.0
	サル	楚里 清	猴	1992	145.0×111.5
	サル	河股 幸和	二人	1995	96.0×145.0
	オランウータン	竹内 浩一	人	1994	183.0×227.0
草食動物	ヒツジ	小山 硬	仔羊	1994	91.0×97.2
	ウサギ	河股 幸和	月の宴	1994	144. 0×96.0
	ウサギ	竹内 浩一	山胡桃	1986	52.5×72.0
	シカ	下田 義寛	疎林	1986	59.0×71.0
	シカ	栗原 幸彦	秋色	1995	144.0×111.0
	カモシカ	田口 昌宏	悠	1992	143.0×88.0
	ウシ	河股 幸和	秋の日	1995	143.5×95.5
	ウシ	鈴木 佐和子	アキグミの樹の下	2009	162.1×227.3
	ウシ	西田 俊英	木蔭	1989	90.6×120.0
	ウマ	河股 幸和	五月雨	1994	96.0×145.0
	ウマ	芝 康弘	慈光	2021	80.3×116.7
野生の姿・戯画	キツネ	竹内 浩一	戯画游	2001	180.0×360.0
	トラ	西野 陽一	王国	2006	各180.0×360.0 四曲一双
	ゾウ	西野 陽一	森の家族	2006	各180.0×360.0 四曲一双
	サル	竹内 浩一	戯画猿来迎	2003	180.0×360.0
鳥類	ジョウビタキ	上村 淳之	雪の音	1990	60.0×72.0
	カリ	中野 嘉之	雁	1985	90.9×116.7
	クジャク	栗原 幸彦	涼夏	1996	111.0×144.0
	クジャク	那波多目 功一	春に憩う	2014	170.2×280.0
野生の姿・戯画	サル・ダチョウ	平子 真理	Monkey Race	2010	各156.3×358.8 左右一對
鳥類	シラサギ	栗原 幸彦	白韻	1988	130.8×194.3
	ニワトリ	栗原 幸彦	春麗	1997	110.5×145.0
	カモ	中野 嘉之	秋映譜	1991	72.7×116.7
愛玩動物	ネコ	武蔵原 裕二	白い妖精	2008	60.6×90.9
	イヌ	河股 幸和	雪の華	1994	114.0×96.0
	イヌ	家本 佳生琉	芳信	1995	89.0×98.5
	イヌ	松村 公嗣	夏日	2007	90.4×116.0
	ネコ	河股 幸和	芙蓉	1997	144.5×96.0
	イヌ	武蔵原 裕二	一〇八匹犬図 -走-	2013	157.0×320.0
	イヌ	武蔵原 裕二	一〇八匹犬図 -子-	2016	157.0×320.0
	ネコ	金木 正子	ねこもよう 四季 夏	2014	130.5×162.0
	ネコ	金木 正子	ねこもよう 四季 秋	2014	130.5×162.0

第20回 砺波市美術展 《市展》

会 期：2024年11月16日(土)～12月15日(日) 会 場：企画展示室、常設展示室2・3

- 〔観 覧 料〕 無料
- 〔主 催〕 砺波市／砺波市教育委員会／砺波市美術館／砺波市美術協会
- 〔後 援〕 砺波市文化協会／となみ芸術文化友の会
- 〔出 品 資 格〕 砺波市在住者、在勤者、在学者（高校生以上）
市内の美術教室やサークル等に所属し制作活動している人
- 〔出 品 部 門〕 日本画、洋画、彫刻、工芸、書、写真
- 〔出 品 要 領〕 未発表の作品であることに限ります。（公募展、個展、グループ展で発表した作品は既発表とします。ただし、高校生に限り既発表作品でも出品可）ただちに陳列可能な状態のものに申込書を貼付してください。出品料は無料です。他の作家が制作した作品の模写や書き写した作品は出品できません。自身の創作でない作品とみなされた場合、発表後であっても入選・入賞を取り消します。（書部門の臨書は出品可能）出品された作品は原則、来館者による写真撮影及びSNS等での公表を可能とします。
- 〔出 品 規 格〕 日本画、洋画 額を含めて縦2.0m×横1.7m以内
彫刻・工芸 制限なし
書 額を含めて①1.82m×0.61m以内、②1.53m×0.73m以内、③1.22m×0.91m以内（いずれも縦横自由）
写真 パネルまたは金属・木製の額装で縦1.0m×横1.0m以内
単写真のものは長辺が50cm以上（全紙プリント以上）
※額装はガラスを使用しないもの、アクリル板は可 ※軸装は受け付けません。
- 〔出 品 点 数〕 日本画19点、洋画22点、彫刻8点、工芸12点、書34点、写真24点 合計119点
- 〔搬 入 受 付〕 11月9日（土）午後3時～午後6時、10日（日）午後2時～午後4時
- 〔表 彰 式〕 12月15日（日）午後4時から 砺波市美術館 市民アトリエ
- 〔表 彰 内 容〕 市展大賞 副賞「川辺賞」「永原賞」、市展賞 副賞「美術協会賞」、奨励賞、努力賞
- 〔入 場 者 数〕 2,029人
- 〔印 刷 物〕 ポスター B2判、市展公募要項A4判、市展出品目録A4判8ページ
- 〔関 連 事 業〕 ●講評会

- 日時：11月17日（日）午後2時～ ※各部門の審査員が講評を行う
- みんなで作ったワークショップの作品展
日時：11月16日（土）～24日（日）午前10時～午後6時（出入自由）
会場：市民ギャラリー
展示内容：美術協会主宰ワークショップで制作した作品、藤森兼明氏ワークショップで制作した作品、子どもの造形アトリエで制作した作品

〔担当学芸員〕 杉本 積

第20回 砺波市美術展 実行委員・審査員

実行委員			審査員		
委員長	宮崎 悦郎	(洋 画)	委員長	石村 歌知子	
委 員	熊木 明美	(日本画)	委 員	○島田 一子	(日本画) 中嶋 博子 (日本画)
委 員	稲垣 朋子	(洋 画)	委 員	○松永 正昭	(洋 画) 今井 和恵 (洋 画)
委 員	野村 修三	(彫 刻)	委 員	○荒井 明浩	(彫 刻) 東山 秀誠 (彫 刻)
委 員	林 哲三	(工 芸)	委 員	○谷口 均	(工 芸) 織田 定男 (工 芸)
委 員	中島 悠輔	(書)	委 員	○今井 乾暁	(書) 寺島 博美 (書)
委 員	今堀 顕	(写 真)	委 員	○吉田 繁弘	(写 真) 横山 宗平 (写 真)

○印主任



令和6年度 第20回砺波市美術展入賞者 一覧

受賞	部門	作品名	作者
市展大賞	日本画	あかるい夜	辻 秀香
市展大賞	洋 画	R6…海よ	澤武 泰子
市展大賞	書	伊加流伎	末永 正志
市展大賞	写 真	ショパンのひまわり	佐伯 優花
市展賞	日本画	秋 光	青江 利子
市展賞	洋 画	山奥の小さなダム	千々石 仁
市展賞	彫 刻	輪環は和	堀田 俊明
市展賞	工 芸	涌く	藪 絹江
市展賞	書	依緑亭得句	中島 道秀
市展賞	写 真	新風に挑戦	市山 真由美
奨励賞	日本画	空ちゃんもお手伝い	柴田 多喜子
奨励賞	日本画	夜半の舞	古嶋 ひさ子
奨励賞	洋 画	みつめあう	大吉田 誠夫乃助
奨励賞	洋 画	初冬庄川	川原 正彦
奨励賞	彫 刻	戦いを終え、次へ	片山 雅子
奨励賞	彫 刻	Life on earth VII	溝口 一陽
奨励賞	工 芸	香合（背負いカゴ・栗・筍）	亥真 奈文
奨励賞	工 芸	溜塗八角盛器	川端 芳彦
奨励賞	書	臨雁塔聖教序	江尻 真希子
奨励賞	書	古 福	砂田 真琴
奨励賞	書	臨高野切第一種	千代 扶実子
奨励賞	写 真	黎 明	志浦 健治
奨励賞	写 真	日没を眺める	高崎 彩加
奨励賞	写 真	樹 影	山本 秀一
努力賞	日本画	蘭 鑄	松井 志歩
努力賞	書	今上岳陽楼	中島 みちる
努力賞	書	心	山本 正喜

コレクション展 ～収蔵作品に見る人物表現～

会 期：2025年1月11日(土)～2月24日(月・振休) 会 場：企画展示室

今回は、資料含めて1,700点余りの多様なコレクションから人物表現の作品を「顔」、「家族」、「作家とモデル」、「市井の人たち」の四つのテーマに分けて会場構成を行った。「顔」は、自画像やポートレートといった様々な形態で創作されている作品を選んだ。「家族」では、親子、兄弟、姉妹の関係が垣間見える作品を選んだ。「作家とモデル」は、存在感のある人物や俳優、職業モデルを主題とし、独自の表現を展開している作品を選んだ。「市井の人たち」では、屋外で取材した、人々の生き生きとした姿に関心を寄せて創作された作品を選んだ。本展では、作家たちが人間を見つめ主題とし創作した多様な表現を紹介した。

〔観 覧 料〕 無料

〔主 催〕 砺波市美術館

〔後 援〕 となみ衛星通信テレビ／エフエムとなみ／
となみ芸術文化友の会

〔出 品 点 数〕 61点

〔入 場 者 数〕 993人

〔印 刷 物〕 ポスター B2判、チラシA4判

〔担当学芸員〕 杉本 積



作者名	作品名	制作年	寸法 (cm)	材質、技法
顔				
川辺 外治	自画像	c.1938、刷り2000	11.8×8.8	エッチング
川辺 外治	自画像	1972	38.0×45.5	油彩
藤森 兼明	自画像	1957	45.5×38.0	油彩
森村 泰昌	MのセルフポートレートNo. 40 / B (あるいはカメラを持つ自画像)	1995	35.56×27.94	ゼラチン・シルバー・プリント
森村 泰昌	MのセルフポートレートNo. 56 / B (あるいはマリリン・モンローとしての私)	1995	35.56×27.94	ゼラチン・シルバー・プリント
郭 徳俊	フォードと郭 (B)	1974	64.0×90.0	リトグラフ
島田 章三	婦人像	不詳	23.0×14.0	油彩
松樹 路人	人物像	不詳	33.5×26.5	油彩
絹谷 幸二	女の顔	不詳	49.5×40.0	リトグラフ
島田 章三	女性像	不詳	36.5×27.5	リトグラフ
深沢 幸男	天使の影	1987	40.0×32.5	エッチング
堀 豊之	Y 君	1953	18.0×26.0×40.0	ブロンズ
横山 豊介	黄色いリボン	1991	23.0×25.0×45.0	ブロンズ
村井 正誠	丸い顔	1978	69.0×54.2	シルクスクリーン
辻 志郎	掟	1986	27.2×42.5×52.0	ブロンズ
家族				
藤森 兼明	祖母の像 (藤森すず)	1953	80.3×65.2	油彩
藤森 兼明	征子の像	1971	60.6×50.0	油彩
藤森 兼明	アマービレ	1997	72.7×53.0	油彩
川辺 外治	菓仕事の母子	1943	80.3×100.0	油彩
石村 歌知子	あ・し・た	2013	194.0×112.0	紙本着色
藤井 宏	母子	1980	145.5×112.5	油彩
野村 修三	タカイタカイ	2005	48.0×107.0×233.0	杉
山田 和	母と子	2010	36.0×54.0	カラー・プリント
山田 和	母と子	2010	45.0×44.0	カラー・プリント
山田 和	姉と弟	2010	36.5×54.0	カラー・プリント
ロベール・ドアノー	兄弟	1934	37.5×33.0	ゼラチン・シルバー・プリント
黒田 信一	姉妹	1975	91.0×72.7	油彩
齋藤 尤鶴	家族	1998	131.0×200.0×46.0	松
作家とモデル				
川辺 外治	小使い室の老人	1954	89.4×130.3	油彩
川辺 外治	農婦	1971	116.7×80.3	油彩
黒田 信一	赤い靴	1979	156.0×123.0	油彩
清原 啓一	椅子による女	1952	121.5×95.0	油彩
熊木 明美	もの思ひ	2017	130.2×162.0	紙本着色
柳田 邦男	時の中で	2015	182.0×227.0	油彩
堀 泰明	稲舟 (坂東玉三郎)	2002	178.0×234.0	紙本着色
堀 泰明	稲舟 (坂東玉三郎)	2005	178.0×234.0	紙本着色
藤森 兼明	アドレクション・デミトリオス	2004	194.0×162.0	油彩
藤森 兼明	アドレクション マイケル エ ガブリエル	2013	194.0×162.0	油彩
川田 良樹	本日のメニューは、	2018	35.5×39.0×144.0	楠
芝田 米三	民俗の花	不詳	59.0×44.0	リトグラフ
芝田 米三	白き花	不詳	51.0×37.0	リトグラフ

作者名	作品名	制作年	寸法 (cm)	材質、技法
芝田 米三	実りのとき	不詳	48.0×38.0	リトグラフ
市井の人たち				
鴨居 玲	村の酔っぱらい	不詳	90.7×70.8	素描
黒田 信一	モンマルトルの丘より	1970	130.5×162.2	油彩
ロベール・ドアノー	日曜の散策	1933	37.5×33.0	ゼラチン・シルバー・プリント
ロベール・ドアノー	カフェ 白と黒	1948	33.5×37.5	ゼラチン・シルバー・プリント
ロベール・ドアノー	斜めの視線	1950	34.0×37.5	ゼラチン・シルバー・プリント
ロベール・ドアノー	芸術橋のフォックステリア	1948	33.0×37.5	ゼラチン・シルバー・プリント
ロベール・ドアノー	地獄	1953	38.0×33.0	ゼラチン・シルバー・プリント
高道 宏	青空市	1991	39.5×56.0	自家製印画紙技法
高道 宏	市場の床屋	1991	56.0×39.5	自家製印画紙技法
高道 宏	容器を運ぶ少年	1991	56.0×39.5	自家製印画紙技法
高道 宏	メディナの路地	1991	56.0×39.5	自家製印画紙技法
高道 宏	食べ物売り	1991	39.5×56.0	自家製印画紙技法
林 清納	インドの女 ガンガー C	2011	162.1×97.0	油彩
林 清納	インドの女 ガンガー (6)	2013	162.0×97.0	油彩
林 清納	インドの女 ガンガー A	2009	162.0×97.0	油彩
山田 和	仕立屋ヴァルディ・チャンド	1989	39.5×39.5	カラー・プリント
山田 和	シャリファル売りアンディ・バーイ	1989	39.5×39.5	カラー・プリント
山田 和	飲料水売り ノージ・バーイ	1989	39.5×39.5	カラー・プリント
山田 和	錠前屋アサン・ウッディン	1989	39.5×39.5	カラー・プリント

第21回記念砺波市美術協会会員展

会 期：2025年3月8日(土)～30日(日) 会 場：企画展示室、市民ギャラリー

〔観 覧 料〕 無料

〔主 催〕 砺波市美術協会／砺波市美術館

〔共 催〕 砺波市文化協会／北日本新聞社

〔後 援〕 砺波市／砺波市教育委員会／北日本放送／富山テレビ放送／
チューリップテレビ／となみ衛星通信テレビ／
エフエムとなみ／となみ芸術文化友の会

〔出 品 点 数〕 99点

日本画、洋画、彫刻、工芸、書、写真の6部門

砺波市美術協会員81点

第20回砺波市美術展の市展大賞3点

市展賞受賞作品5点

美術協会指導で制作した中学生の作品10点

〔出 品 規 格〕 日本画、洋画（額装－縦3.0m×横1.7m以内）

彫刻（床面－縦2.0m×横2.0m×高さ3.0m以内）

工芸（床面－縦1.0m×横1.0m×高さ3.0m以内）

書（額装－縦3.0m×横1.75m以内 ※軸装を除く）

※平面の場合は日本画・洋画に準ずる

写真（パネル又は額装、長辺1.0m以内）

〔入 場 者 数〕 1,391人

〔印 刷 物〕 ポスター B2版、出品目録A3判二つ折り

〔関 連 事 業〕 ●各部門ギャラリートーク

日時：3月8日（土）開会式後

●作品について話そう聴こう

日時：3月16日（日）午前11時～

〔担当学芸員〕 辻 弥生子



作者名	作品名	部門	備考
石村 歌知子	うわさ	日本画	
稲垣 敦子	返景	日本画	
小野 美恵子	南国の実り	日本画	
笠原 しのぶ	月下美人	日本画	
島田 一子	在る想	日本画	
中嶋 博子	対戦	日本画	
杉森 律子	波紋	日本画	
熊木 明美	ひととき	日本画	
川合 千明	コロナ禍の遊園地	日本画	
高木 里美	春の隣	日本画	
高田 幸子	樹	日本画	
平木 トシ子	孫（巫女）	日本画	
橋本 志津子	桜	日本画	
水上 博子	LA VIE EN ROSE	日本画	
今井 準子	ハロン湾	日本画	遺作出品
辻 秀香	あかるい夜	日本画	招待
青江 利子	秋光	日本画	招待
大野 一秀	聖堂の一隅	洋画	
岡田 武良	花と囲炉裏	洋画	
鴨井 伸市	北前船のある静物	洋画	
橋本 文良	熱いトタン屋根	洋画	
前田 淳	陽春	洋画	
宮崎 悦郎	時	洋画	
松永 正昭	サンタ・マリア・デル・フィオーレ大聖堂	洋画	
稲垣 朋子	響	洋画	
水上 悦子	ひとときの涼風	洋画	
今井 和恵	おともだち	洋画	
熊木 博章	11月の空	洋画	
藤田 美知子	秋麗	洋画	
澤武 泰子	R6…海よ	洋画	
千々石 仁	山奥の小さなダム	洋画	
林 清納	インドの女 カンガー B	洋画	遺作出品
岡部 俊彦	コンセプトワーク 2025	彫刻	
齋藤 尤鶴	白い風の回廊	彫刻	
大丸 敏	トルソ	彫刻	
東山 秀誠	時の音	彫刻	
野村 修三	チューリップ	彫刻	
辻 和志	胸像	彫刻	
堀田 清	かがむ	彫刻	遺作出品
堀田 俊明	輪環は和	彫刻	招待
安達 陽子	風の子	工芸	
荒木 寛二	楠造拭漆盤	工芸	
織田 定男	記憶の情景	工芸	
川原 正士	蓮	工芸	
谷口 均	花器（富士）	工芸	
中島 満	抹茶茶碗	工芸	
名取川 雅司	ファラオの猫	工芸	
南部 進	さざなみ	工芸	
西出 勝徳	裂紋花器	工芸	

作者名	作品名	部門	備考
林 哲三	花梨拭漆盆	工芸	
松岡 満	生動	工芸	
末永 保	透かし花器	工芸	
田邊 博之	夜桜彫大壺	工芸	
藪 絹江	涌く	工芸	招待
飯田 晏子	螢の乱舞	書	
今井 乾曉	正信偈詩句	書	
岸川 京子	心花	書	
田守 光昭	京	書	
平岡 千香子	生命	書	
平木 雲龍	揮灑	書	
平木 麗園	王維詩句	書	
松山 友之	脚下照顧	書	
築場 信代	旅	書	
吉川 美栄子	進	書	
吉田 秀鶴	島崎藤村詩 千曲川旅情の歌	書	
中村 恵子	安	書	
中島 悠輔	雲蒸龍變	書	
小倉 翠邨	百人一首（2首）	書	
吉田 游歩	天禄永昌	書	
天野 余旨	恵	書	
千代 歩月	遼	書	
寺井 利夫	安心立命	書	
西島 永恵	駿	書	
早苗 立道	白秋の詩	書	遺作出品
末永 正志	伊加流伎	書	招待
中島 道秀	依緑亭得句	書	招待
吉田 繁弘	水中秋苑	写真	
今堀 顕	あっ消えそう	写真	
川堰 あけみ	時代	写真	
田島 昇	おつかれさん	写真	
横山 宗平	村はずれの地藏様	写真	
荒川 和子	移ろふ	写真	
金谷 與治	雪嶺	写真	
松岡 達子	暮秋	写真	
斉藤 裕	君と夢みた未来	写真	
小竹 由子	扇の風	写真	
河合 良子	麦の詩	写真	
佐伯 優花	ショパンのひまわり	写真	招待
市山 真由美	新風に挑戦	写真	招待

教育普及活動

子どもの造形アトリエ

講座／講演会／作品説明会／ギャラリートーク

ワークショップ

博物館実習受け入れ

広報用印刷物

子どもの造形アトリエ

平成9年3月に開館した砺波市美術館は、砺波市及びその広域圏での生涯学習の拠点として、市民に開かれた美術館を活動方針としている。開館に先行して平成6年10月第1回美術館教育シンポジウムを催し、その後第2回、3回と続き、その成果は開館後の美術館教育普及事業として「子どもの造形アトリエ」に継承された。この事業は市内の幼稚園・保育所の年長組、小学校1、2年生を対象にクラス単位で行われ、児童は3年間連続で美術館のアトリエでのびのびと活動に取り組んでいる。

◆始まり

平成7年6月、子どもの造形アトリエ運営検討委員会が設置され、教育普及事業としての基本方針が決まった。市内の小学校、幼稚園、保育所、美術協会代表を加えた企画委員会で具体的なワークショップ調査研究が行われ、同年8月には、ニューヨーク近代美術館から講師を招き美術館教育セミナーも開催し、実現に向けて準備が整えられた。平成8年1月の第3回企画委員会には実施プログラムの具体案が出され、同年10月、第2回運営検討委員会に中間報告書を提出した。そして、平成9年3月、開館時に市民アトリエで公開ワークショップを行い、4月に各校へ案内後、5月27日に第1回目のワークショップが始まり、今日に続いている。

◆対象：砺波市内の幼稚園・保育所・認定こども園の年長児、小学校1・2年生、特別支援学級（合同）、適応指導教室

◆子どもの造形アトリエ活動内容

活動-1 美術館探検（約30分）

- ・学芸員が企画展や常設展を案内し、クイズや対話を中心としたギャラリートークを行う。
- ・作品運搬用のエレベーター、照明設備、収蔵庫など見学する。

活動-2 ワークショップ（約1時間30分）

- ・美術館アトリエで素材体験を中心としたワークショッププログラムを行う。

子どもの造形アトリエ・スタッフ

ワークショップは砺波地域の美術作家 安達 陽子（木彫家）、中川 佳代子（造形作家）、藪 道子（グラフィックデザイナー）、横山 丈樹（彫刻家）らが講師を務める。他にアシスタント（インターンシップ実習生、14歳の挑戦生徒）、学芸員が準備と手伝いを行う。

ワークショップで使う素材

ダンボール、粘土は近隣の瓦工場、ダンボール工場で安価に購入し、十分に使える分量を用意してある。ダンボールカッター、ハサミ、ホッチキス、クレヨン、絵具などクラス全員に行き渡るように常備してある。

作品

グループ活動による素材体験を主とし、送迎バスで持ち帰られないものは、美術館のワゴン車で配達する。

費用

参加費は1人につき100円を当日徴収している。プログラムによって費用概算は異なるが、一律均等費用とする。

交通手段

市教育委員会にスクールバス運行申請を行い、年間予約送迎をしている。

幼稚園、保育所、学校との連絡

●活動前 ・美術館からクラス担任へ

活動日2週間前に、当日の活動案内をします。4月のアトリエ説明会でプログラムの説明は終えているので、プログラムの確認、児童の準備、バスの送迎時間を知らせている。

・クラス担任から美術館へ

美術館記録用、参加カード（シール）作成用として、クラス担任から美術館へ児童の名簿をFAXで送ってもらう。

●活動後 ・美術館からクラス担任へ

活動報告として、ニュースレターと活動中の写真を送付している。

◆当日タイムスケジュール：Aコース（午前） / Bコース（昼食持参）

9:45 ～ 10:00 幼・保・学校出発（バス予約済）

10:00 ～ 10:30 美術館到着後、美術館探検（ギャラリートーク）

10:30 ～ 11:50 ワークショップ（市民アトリエ）

11:50 （Aコース） ワークショップ終了後 美術館出発

13:00 （Bコース） 美術館出発（チューリップ公園前可）

※令和3年度よりAコースのみとしているが、要望があればBコースにも対応。

◆子どもの造形アトリエ年間スケジュール

①実施案内（4月中旬）

- ・小学校、幼稚園、保育所、認定こども園の担当者へ日程案内、プログラム申込用紙、希望日アンケートを送付。
- ・プログラム説明と年間日程の調整。

②年間スケジュールの決定（5月下旬）

- ・参加校へ決定日を通知。

③子どもの造形アトリエ実施（6月～2月）

- ・終了後、各参加クラスにニュースレターを作成し送付、アンケート実施。

④次年度に向けたプログラム開発、試作研究会（随時）

⑤参加小学校・幼・保・認、教育委員会など連携各所に報告書を提出（2月下旬）

◆運営組織

- ・アトリエ活動については毎年企画委員会と運営検討委員会で協議検討を行っていたが、令和4年度よりそれらの委員会に代わって、その年の活動において参加各校の担当教諭へのアンケートを実施し、講師陣と美術館学芸員によって新規プログラム開発や研究、既存のプログラムの改善などを行い、運営している。その内容についてまとめた報告書は市教育委員会の連携各所、参加小学校、保、幼、認定こども園へ提出し共有を図っている。

◆砺波市美術館のワークショップ活動

これまで砺波市美術館が行ってきた教育に関する企画として、砺波地区中学校文化連盟と共催の「秋のアートワーク大会」、砺波地区の高等学校の「高校作品展」関連ワークショップ、一般対象に版画、写真のワークショップなどがある。これらは美術館の建設構想段階から、市民がさまざまな芸術活動に積極的に参加する場と企画を提供する市民アトリエが設置されたところによる。平成10年の夏には、まだ美術館のアトリエ活動に参加していない市内の小学3年～6年生を対象とした「夏休み子ども美術大会」が企画され、その後、市内の小学校の全学年に対象の枠を広げ、平成13年、16年、20年、23年、27年、30年、令和4年に開催した。また、子ども美術大会を開催しない年度の夏期には子どものためのワークショップが企画される。他にも平成14年冬期間には文化体験プログラム支援のワークショップを企画、令和6年度からは親子で参加するワークショップを企画、実施している。

◆担当者 番土 佑季 辻 弥生子

令和6年度子どもの造形アトリエ 実施プログラム

幼稚園・保育所・認定こども園は①～⑧、小学1年生は①～⑪、小学2年生は①～⑫から選択できます。

① ねんどであそぼう

たくさんの粘土を丸めたり、踏んだり、伸ばしたりして感触を楽しみながらいろいろな形を作って遊びます。



6/14 しょうがわ認定こども園 そら組



9/4 出町小学校 2-2

② ながい紙に絵をかこう

クレヨンやローラーなどを使って長さ10メートルの画面に描きます。
※実施なし

③ とうめいシートに絵をかこう

長い透明なシートに油性ペンで絵を描き、最後は吊るして照明やブラックライトなどを当てて遊びます。



7/3 南部認定こども園 ゆり組・ばら組



9/11 出町青葉幼稚園 ろば組

④ ダンボールのおうちをつくろう

大きなダンボールシートをガムテープで箱状の家を作り、窓をつけたり飾りをつけたりして自分たちのおうちを作ります。



7/12 庄下保育所 つき組



10/22 鷹栖小学校 1-1

⑤ スパイダーキッズ

カラフルな紙テープをアトリエいっぱい張り巡らせて遊びます。



8/1 東部保育所 つき組



10/1 庄南小学校 1-1

⑥ にじいろあそび

ペットボトルを用意して染料などで色水をつくります。グループごとに大きな紙にいろんな技法で絵を描いて遊びます。
※実施なし

⑦ 木であそぼう

いろいろな形の木片を大きなスチレンボードに並べたり、積み重ねて高さを比べたり、玉を転がして遊びます。



7/25 たかのす認定こども園 そら組



8/23 あぶらでん認定こども園 そら組

⑧ めいろ大作戦

いろいろな形のダンボール板にクレヨンで絵を描いて壁を部屋中にめいろを作って遊びます。



7/16 出町認定こども園 ばら組



10/8 砺波南部小学校 1-1

⑨ おしゃれハット

新聞紙で基礎の帽子を作り、様々な素材をどんどん飾り付けておしゃれな変身帽子に仕上げます。



6/24 砺波東部小学校 1-1



10/25 庄東小学校 2-1

⑩ となみビックリシティ計画

大きなダンボールシートを砺波市に見立て、その上に空き箱や食品トレイなどの廃材を使って楽しいジオラマ風の街をつくっていきます。



9/13 庄川小学校 1-1



2/19 砺波北部小学校 2-3

⑪ わたしの足ウラ

粘土の塊に、自分の足跡をつけて、石こうを流し込み、足型を作ります。



12/9 砺波南部小学校 2-1



12/9 砺波南部小学校 2-1

⑫ うちゅう人と友だち

ダンボールでうちゅう人の手足体、顔など部位ごとにつくってマリオネット風の巨大うちゅう人を作ります。



9/26 庄南小学校 2-1



11/22 砺波東部小学校 2-1

美術鑑賞



10/31 鷹栖小学校 2-1



7/1 出町小学校 1-1

日 程						
年	月	日	曜	受講クラス	プログラム	児童数 (付添含む)
2024	6	14	金	しょうがわ認定こども園そら組	①ねんどであそぼう	21
		24	月	砺波東部小学校1-1	⑨おしゃれハット	27
		27	木	砺波東部小学校1-2	⑨おしゃれハット	28
		28	金	砺波東部小学校1-3	⑨おしゃれハット	28
	7	1	月	出町小学校1-1	⑨おしゃれハット	31
		2	火	出町小学校1-2	⑨おしゃれハット	28
		3	水	南部認定こども園ゆり組・ばら組	③とうめいシートに絵をかこう	32
		4	木	出町小学校1-3	⑨おしゃれハット	29
		10	水	太田認定こども園ゆり組	③とうめいシートに絵をかこう	28
		12	金	庄下保育所つき組	④ダンボールのおうちをつくろう	27
		16	火	出町認定こども園ばら組	⑧めいろ大作戦	25
		17	水	出町認定こども園ふじ組	⑧めいろ大作戦	26
		25	木	たかのす認定こども園そら組	⑦木であそぼう、バランスボード	23
	8	1	木	東部保育所つき組	⑤スパイダーキッズ	22
		23	金	あぶらでん認定こども園そら組	⑦木であそぼう、バランスボード	44
	9	4	水	出町小学校2-2	①ねんどであそぼう	39
		5	木	出町小学校2-1	①ねんどであそぼう	41
		11	水	出町青葉幼稚園ろば組	③とうめいシートに絵をかこう	19
		13	金	庄川小学校1-1	⑩となみビックリシティ計画	28
		26	木	庄南小学校2-1	⑫うちゅう人と友だち	29
	10	1	火	庄南小学校1-1	⑤スパイダーキッズ	22
		8	火	砺波南部小学校1-1	⑧めいろ大作戦	28
		11	金	庄東認定こども園らいおん組	③とうめいシートに絵をかこう	24
		22	火	鷹栖小学校1-1	④ダンボールのおうちをつくろう	27
		23	水	庄東小学校1-1	①ねんどであそぼう	21
		25	金	庄東小学校2-1	⑨おしゃれハット	18
		28	月	砺波北部小学校1-1	⑨おしゃれハット	33
		29	火	庄川小学校2-1	⑤スパイダーキッズ	22
		30	水	砺波北部小学校1-2	⑨おしゃれハット	34
		31	木	鷹栖小学校2-1	⑤スパイダーキッズ	21
	11	20	水	砺波東部小学校2-3	⑫うちゅう人と友だち	25
		22	金	砺波東部小学校2-1	⑫うちゅう人と友だち	29
		26	火	砺波東部小学校2-2	⑫うちゅう人と友だち	27
	12	3	火	北部認定こども園ゆり組	⑤スパイダーキッズ	22
		4	水	北部認定こども園ばら組	⑤スパイダーキッズ	21
		9	月	砺波南部小学校2-1	⑪わたしの足ウラ	28
		13	金	ちゅうりっぷ認定こども園りんご組	⑦木であそぼう、バランスボード	27
2025	2	19	水	砺波北部小学校2-1	⑩となみビックリシティ計画	27
		20	木	砺波北部小学校2-2	⑩となみビックリシティ計画	27
		21	金	砺波北部小学校2-3	⑩となみビックリシティ計画	25
合計日数		41日		参加人数合計		1,083

※人数は付添含む児童数

講座／講演会／作品説明会／ギャラリートーク

演 題	開 催 日 時	講 師
今森光彦展 自然と暮らす切り紙の世界 アーティストトーク (企画展示室)	5月25日（土）11:00 ～	今森 光彦（写真家、切り紙作家）
砺波の木芸3人展 アーティストトーク (企画展示室)	7月6日（土）14:00 ～	荒木 寛二（木工芸作家） 林 哲三（木工芸作家）
担当学芸員によるギャラリートーク (企画展示室)	7月20日（土）14:00 ～	長田 里恵（砺波市美術館学芸員）
日本画☆動物園 ギャラリートーク (企画展示室)	9月21日（土）11:00 ～	滝口 紫苑（郷さくら美術館学芸員）
動物園の飼育員さんと作品鑑賞をしてみよう 「絵の中の動物の本当のお話」 (企画展示室)	10月19日（土）14:00 ～	森 大輔（富山市ファミリーパーク飼育展示 第一係長）
担当学芸員によるギャラリートーク (企画展示室)	10月26日（土）14:00 ～	辻 弥生子（砺波市美術館学芸員）
第20回砺波市美術展 講評会 (企画展示室、常設展示室2、3)	11月17日（日）14:00 ～	各部門市展審査員
第21回砺波市美術協会会員展 作品について話そう聴こう (企画展示室)	3月16日（日）11:00 ～	砺波市美術協会会員

ワークショップ

これまで砺波市美術館が行ってきた教育に関する企画として、砺波地区中学校文化連盟と共催の「秋のアートワーク大会」、一般対象に版画、写真のワークショップなどがある。これらは美術館の建設構想段階から、市民がさまざまな芸術活動に積極的に参加する場と企画を提供する市民アトリエが設置されたところによる。平成10年の夏には、まだ美術館のアトリエ活動に参加していない市内の小学3年～6年生を対象とした「夏休み子ども美術大会」が企画され、その後、市内の小学校の全学年に対象の枠を広げ、平成13年、16年、20年、23年、27年、30年、令和4年に開催した。また、子ども美術大会を開催しない年度の夏期には子どものためのワークショップが企画される。他にも、平成14年冬期間には文化体験プログラム支援のワークショップ、令和6年度冬期間には市内の親子対象として美術鑑賞と創作プログラムを組み合わせたワークショップを企画した。

令和6年度ワークショップ

演 題	開 催 日 時	講 師
今森光彦展関連イベント 切り紙ワークショップ	5月25日（土）14:00～15:30	今森 光彦（写真家、切り紙作家）
砺波地区中学生写生会 （会場：庄川水記念公園）	6月15日（土）9:00～16:30	中川 佳代子（洋画家）、 引率指導 砺波地区中学校美術部顧問
夏のワークショップ		
ふしぎなふしぎな紙版画	7月31日（水）10:00～12:00	畦地 拓海（漆芸家）
エコバッグにふわふわのアップリケ	8月4日（日）10:00～12:00	竹内 陽美（テキスタイルデザイナー）
裂き織りで思い出しメイク	8月11日（日）10:00～12:00	香川 真有美（染織家）
木の葉模様のわたしのお皿	8月25日（日）10:00～12:00	花嶋 伊都子（陶芸家）
チューリップ公園de夏あそび関連イベント ダンボール魚で釣り堀体験	8月17日（土） 10:00～12:00、14:00～15:00	辻 弥生子（砺波市美術館学芸員） 野村 佳也子（砺波市美術館学芸員）
夏の絵画講座 大先輩から学ぶ ～友人を描く～	8月12日（月・振休）10:00～16:00	藤森 兼明（洋画家）
（砺波地区中学校文化連盟主催） 秋のアートワーク大会 鍍金体験 「錫でキーホルダーをつくる」	9月16日（土）9:30～11:30	高田 修男（大谷中学校教諭） 辻 弥生子（砺波市美術館学芸員） 番土 佑季（砺波市美術館学芸員）
日本画☆動物園関連イベント 動物お面作り	10月19日（土）13:00～14:00	砺波市美術館職員
冬のワークショップ 美術館だよ！親子の造形アトリエ		
ダンボールのおうちをつくらう	2月8日（土）10:00～12:00	中川 佳代子（造形作家）、横山 丈樹（彫刻家） 辻 弥生子、番土 佑季（砺波市美術館学芸員）
うちゅう人ともだち	2月9日（日）10:00～12:00	安達 陽子（木彫家）、 藪 道子（グラフィックデザイナー） 辻 弥生子、野村 佳也子（砺波市美術館学芸員）
おしゃれハット	3月15日（土）10:00～12:00	安達 陽子（木彫家）、 中川 佳代子（造形作家） 辻 弥生子、番土 佑季（砺波市美術館学芸員）
わたしの足ウラ	3月16日（日）10:00～12:00	安達 陽子（木彫家）、横山 丈樹（彫刻家） 辻 弥生子、野村 佳也子（砺波市美術館学芸員）

博物館実習生受け入れ

令和6年度	学校名	期間
インターンシップ	富山県立高岡工芸高校 3名	7月3日、4日
14歳の挑戦	砺波市立庄西中学校 3～5名	7月1日～5日
博物館実習	中央大学 文学部 人文社会学科 1名	8月21日～25日

広報用印刷物

カタログ名	規格	ページ数	部数	発行
砺波市美術館催物案内	A4判三つ折り	6P	7000部	令和6年3月

作品管理

砺波市美術館収蔵美術品一覧
令和6年度新収蔵美術品一覧

砺波市美術館収蔵美術品一覧

区分／部門		平成8～令和5年度分				令和6年度					総計
		購入	寄贈	管理換	小計	購入	寄贈	寄託	管理換	小計	
絵画	日本画	10	42	6	58					0	58
	油彩・水彩	9	251	14	274					0	274
	素描	0	32	0	32					0	32
	その他	1	5	0	6					0	6
版画		0	236	2	238					0	238
立体造形	彫刻	4	36	13	53		3			3	56
	その他	2	6	0	8					0	8
工芸	木工芸	10	13	5	28	1	4			5	33
	漆工芸	4	7	3	14					0	14
	陶芸	4	78	0	82					0	82
	その他	19	9	2	30					0	30
書		0	25	0	25					0	25
写真		114	331	40	485					0	485
小計		177	1,071	85	1,333	1	7	0	0	8	1,341

令和6年度新収蔵美術品一覧

no.	作者名	作品名	制作年	寸法 (cm)	分野・技法・素材	備考
1	堀田 清	横ずわりの女	1981	51.0×36.0×30.0	石こう	寄贈
2	堀田 清	髪 (座像)	1996	118.0×40.0×44.0	FRP	寄贈
3	堀田 清	座っている女 ('98)	1998	128.0×53.0×57.0	FRP	寄贈
4	荒木 寛二	楠造拭漆卓	2016	100.0×42.5×30.5	楠、漆	寄贈
5	林 哲三	黒柿赤漆鉢	2011	Φ29.7×4.0	黒柿、漆	寄贈
6	林 哲三	櫨拭漆花文彫八稜箱	2017	26.0×26.0×12.0	櫨、漆	寄贈
7	米道 正幸	櫨空目沈金香盆「比翼」	1999	61.0×30.2×5.5	櫨、漆、金粉	購入
8	米道 正幸	朴拭漆盛器「漣」	2007	27.4×22.6×2.5	朴、漆	寄贈

美術館利用状況

企画展示室及び常設展示室

市民ギャラリー

市民アトリエ

利用状況一覧

企画展示室及び常設展示室 利用状況

	事業名	開催期間	日数	開催場所	人数(人)
1	2024となみチューリップフェア特別展 「今森光彦自然と暮らす切り紙の世界」	4/13～6/9	53	企画展示室	54,446
2	となみの木工芸3人展	6/22～7/28	35	企画展示室	1,050
3	第31回中学生清流展	8/10～9/8	28	企画展示室	1,548
4	日本画☆動物園	9/21～11/4	42	企画展示室	3,167
5	第20回砺波市美術展	11/16～12/15	29	企画展示室、常設2・3	2,029
6	コレクション展 収蔵作品にみる人物表現	1/11～2/24	39	企画展示室	993
7	第21回砺波市美術協会会員展	3/8～3/30	21	企画展示室、市民ギャラリー	1,391
企画展示室 計			247		64,624
常設展示室※			259		4,680

※常設展示室の観覧者数はチューリップフェア期間中を除く。

市民ギャラリー 利用状況

	市民ギャラリー	利用日	日数	団体・代表者等	人数(人)
1	コレクションからー砺波の散居ー	4/23～5/5	13	砺波市美術館	※
2	砺波市書道連盟展	5/10～19	10	砺波市書道連盟	415
3	となみ芸術文化友の会コンサート	5/26	1	となみ芸術文化友の会	47
4	セブンクロスツウ展	7/25～28	4	大野一秀	161
5	松永正昭個展	7/25～28	4	松永正昭	219
6	富山奎星書作展	8/29～9/1	4	富山奎星会	301
7	押し花アート展	9/5～8	4	東昌子押し花会	459
8	砺波市文化祭 フォトクラブとなみ野展	9/12～16	5	フォトクラブとなみ野	445
9	となみデッサン会展	9/22～29	8	となみデッサン会	566
10	中学校文化祭	9/6	1	富山県中学校文化連盟	382
11	アートペーパー展	9/9～24	6	南部榮	524
12	マドカグループ展	9/16～20	5	マドカグループ	326
13	砺波市文化祭 どんぐりこ絵画展	9/22～27	6	絵の会どんぐりこ	387
14	美峰会	11/1～4	4	吉田秀鶴	398
15	みんなでつくったワークショップの作品展	11/16～24	9	砺波市美術館	735
16	東部小学校2年生 造形アトリエ作品展	11/27～12/2	6	砺波市立東部小学校	232
17	となみ芸術文化友の会 美術作品とのコラボレーション	12/7～8	2	となみ芸術文化友の会	24
18	砺波市児童クラブ書き初め大会	1/5～13	9	砺波市児童クラブ連合会	322
19	となみ芸術文化友の会講演会	2/2	1	となみ芸術文化友の会	31
20	親子造形アトリエ作品展	2/11～24	13	砺波市美術館	321
市民ギャラリー 計			115		6,295

※市民ギャラリーの利用者数はチューリップフェア期間中を除く。

市民アトリエ 利用状況

	市民アトリエ	利用日	日数	団体・代表者等	人数(人)
1	絵の会・どんぐりこ 定例会	週1回	33	絵の会・どんぐりこ	424
2	たち葵 定例会	月2～3回	19	たち葵	210
3	となみデッサン会 定例会	月1回	12	となみデッサン会	237
4	となみ芸術文化友の会 役員会、打合せ	4/5,4/18,5/26, 7/20,8/24,9/9, 11/12,1/18,2/2	9	となみ芸術文化友の会	133
5	フォトクラブとなみ野 総会、研修会	4/7,7/28,3/23	3	フォトクラブとなみ野	43
6	砺波市書道連盟総会	5/19	1	砺波市書道連盟	25
7	砺波市社会福祉協議会	6/8	1	砺波市社会福祉協議会	11
8	富山光風会 研修会	6/9	1	富山光風会	15
9	とやまリトルベビーサークル	7/15	1	とやまリトルベビーサークル	20
10	富山県彫刻家連盟 研修会	7/27	1	富山県彫刻家連盟	17
11	砺波市美術協会 研修会	8/3	1	砺波市美術協会	22
12	富山奎星会講演会	8/31	1	富山奎星会	70
13	百合工房 レザークラフト教室	9/1,12/1	2	百合工房	20
14	中文連アートワーク大会	9/14	1	砺波地区中学校文化連盟	36
15	富山県中学校文化連盟文化祭	10/6	1	富山県中学校文化連盟	34
16	親子ふれあい塾	7/5,11/1	2	親子ふれあい塾実行委員会	87
17	子どもの造形アトリエ	通年	40	砺波市美術館	1,083
18	講演会・ワークショップ	通年	12	砺波市美術館	278
19	市展 実行委員会、審査員会、表彰式	11/10,12/15	2	砺波市美術館	64
市民アトリエ 計			143		2,829

利用状況一覧

区 分	日数(日)	人数(人)
企画展示室	247	64,624
常設展示室	259	4,680
市民ギャラリー	115	6,295
市民アトリエ	143	2,829
計	—	78,428

組織・となみ芸術文化友の会

関係委員及び職員名簿

となみ芸術文化友の会役員名簿

となみ芸術文化友の会事業

関係委員及び職員

砺波市美術館運営協議会

令和6年度

職 名	氏 名	役 職 等
会 長	宮崎 悦郎	砺波市美術協会会長
副会長	織田 定男	地元作家代表
委 員	齋藤 幸恵	砺波市女性団体連絡協議会会長
//	台蔵 光代	砺波市立庄下保育所所長
//	谷口 美都江	となみ芸術文化友の会会長
//	土田 ルリ子	富山市ガラス美術館館長
//	松田 愛	富山大学芸術文化学部准教授
//	坂本 真紀	砺波市小学校教育研究会、庄川小学校校長

砺波市美術館収蔵美術品選定委員会

令和6年度

職 名	氏 名	役 職 等
委員長	山本 仁史	元砺波市教育長
委 員	渋谷 拓	金沢美術工芸大学教授
//	寺川 和子	石川県立美術館学芸第二課長
//	瀬尾 千秋	高岡市美術館学芸課長
//	若松 基	富山県水墨美術館館長

砺波市美術館職員

令和6年度

職 名	氏 名
館長	杉野 秀樹
主査学芸員	杉本 積
主任学芸員	長田 里恵
学芸員	番土 佑季
学芸員(嘱託)	辻 弥生子
学芸員(嘱託)	野村 佳也子
学芸係(臨時)	畦地 千晶
臨時職員	大甲 梨絵
//	折橋 光世

となみ芸術文化友の会役員名簿

令和6年度

職 名	氏 名
顧 問	石丸 正運
顧 問	白江 勉
顧 問	山本 仁史
会 長	谷口 美都江
副会長	大楠 匡子
副会長	小西 竹文
理 事	石村 貴浩
理 事	今井 幸代
理 事	大野 一秀
理 事	小野 美恵子
理 事	小野田 裕司
理 事	河合 要子
理 事	川端 芳彦
理 事	熊野 智浩
理 事	島田 達男
理 事	須摩 孝一
理 事	武田 忍
理 事	埜村 勲
理 事	林 清納
理 事	宮崎 悦郎
監 事	中嶋 博子
監 事	小幡 豊
参 与	広橋 里志
参 与	杉野 秀樹
事務局長	深松 篤夫
事務局員	杉本 積
事務局員	永田 善子
事務局員	大甲 梨絵

となみ芸術文化友の会事業

令和6年度

日 付	内 容
4月18日(木)	役員会
5月26日(日)	令和6年度総会 公開コンサート「ヴァイオリン・デュオ・コンサート」 出演者：嶋 志保子（ヴァイオリン）、櫻井 涼子（ヴァイオリン） コンサート後交流会
7月20日(土)	役員会
8月24日(土)	講演会「ロンドンの博物館からーインドの仏像・細密画ー」 講師：小西 竹文（となみ芸術文化友の会副会長）
10月16日(水)	となみ芸術文化友の会研修旅行（岐阜方面）
12月8日(日)	美術作品とのコラボレーション オマージュ「松村外次郎 四神と西行像をめぐって」 作品解説：杉本 積（砺波市美術館学芸員） 和歌解説：谷口 美都江（となみ芸術文化友の会会長） 朗読者：大楠 匡子（となみ芸術文化友の会副会長） 小幡 豊（となみ芸術文化友の会監事）
2月2日(日)	講演会「MUSEUMは「博物館」それとも「美術館」どっちなの？」 講師：杉野 秀樹（砺波市美術館館長） 役員会

逐次刊行物

友の会だより第61号
友の会だより第62号
友の会だより第63号

◆砺波市立美術館条例施行規則

- 様式第1号(第4条関係) 美術館特別許可申請書
- 様式第2号(第4条関係) 美術館特別観覧許可書
- 様式第3号(第3条関係) 美術館利用許可申請書
- 様式第4号(第4条関係) 美術館利用許可書
- 様式第5号(第6条関係) 美術館利用料金減免申請書
- 様式第6号(第6条関係) 美術館利用料金減免決定通知書
- 様式第7号(第6条関係) 美術館利用料金還付申請書
- 様式第8号(第6条関係) 美術館利用料還付決定通知書
- 様式第9号(第8条関係) 美術館利用取消申請書
- 様式第10号(第8条関係) 美術館利用取消承認書

◆砺波市立美術館収蔵美術品貸付要綱

- 様式第1号(第2条関係) 美術作品借用申請書
- 様式第2号(第3条関係) 美術作品貸付承認書
- 様式第3号(第7条関係) 美術作品借用書

上記の申請書等は、砺波市例規集 第7編 教育 第3章 社会教育

(http://www1.g-reiki.net/tonami/reiki_taikei/r_taikei_07_03.html) に記載されておりますのでご参照ください。

書類のご要望、お問い合わせは、砺波市美術館までお願いいたします。

砺波市美術館年報

(令和6年度)

令和8年7月発行

発行 砺波市美術館 ©Tonami Art Museum 2017
〒939-1383 富山県砺波市高道145-1
TEL : 0763-32-1001 FAX : 0763-32-6361
<https://tonami-art-museum.jp>
デザイン・レイアウト 株式会社トーザワ